



次期基本業務フローの検討（海上）

2012年11月21日
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

1. 本資料の位置づけ

第6次NACCS開発のコンセプトの一つとして、「安定性・信頼性の確保の観点から基本業務フロー、基幹業務について大幅な見直しは行わない」ことを掲げている。

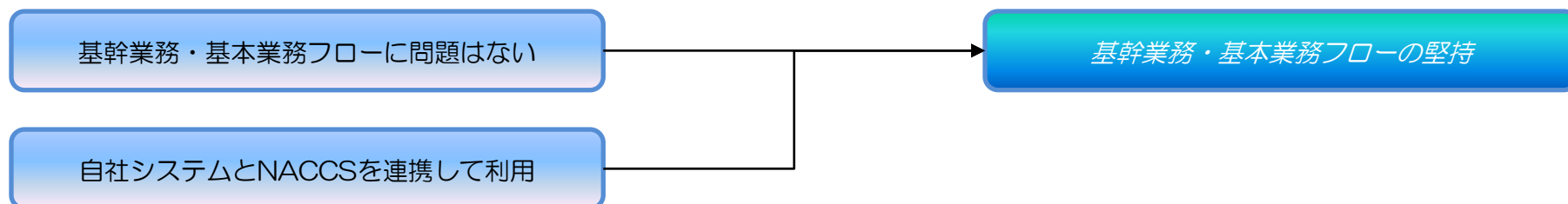
第1回～第5回合同WGにおいて、第1回合同WGにて提示した基本業務フローをベースに次期NACCSにおける業務仕様の変更点について検討を行ってきた。

検討の結果、皆様に合意を頂いた業務仕様の変更について、第1回合同WGにて提示済の基本業務フロー上に提示した。

(参考)

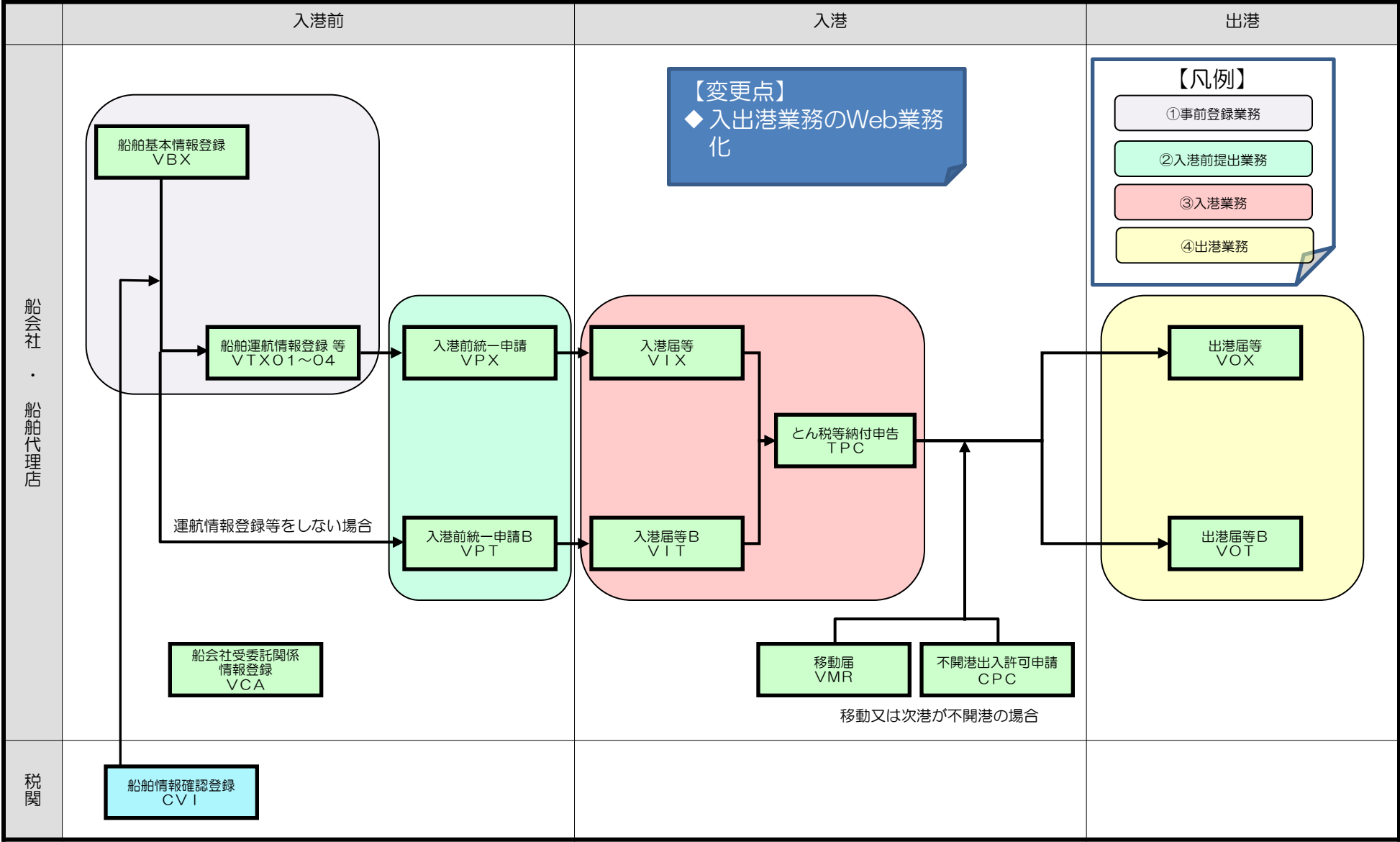
第1回更改専門部会 資料2 「更改専門部会における主な検討事項」

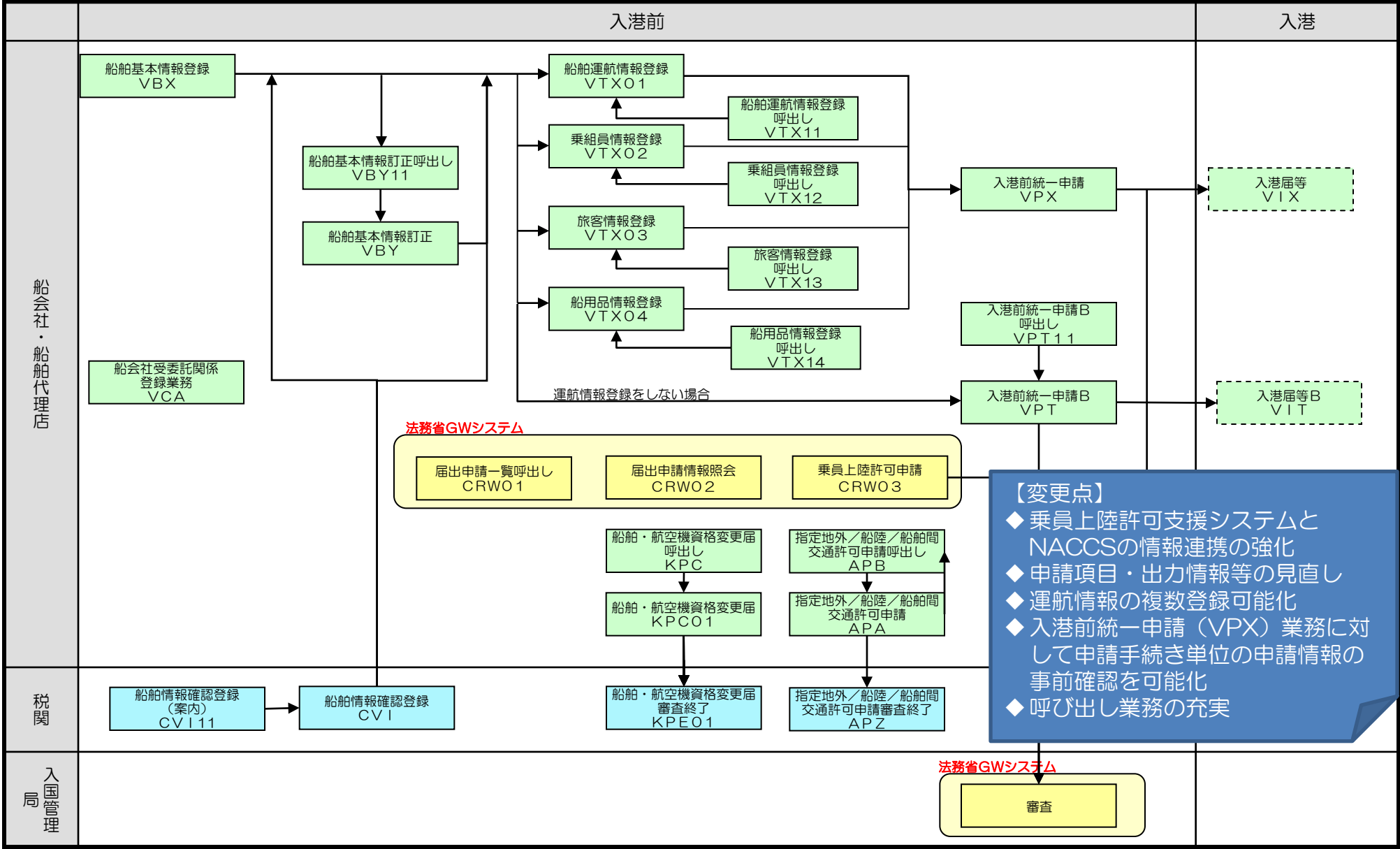
「2. 現行システムへの評価・要望等からみた次期システム開発コンセプト」より抜粋

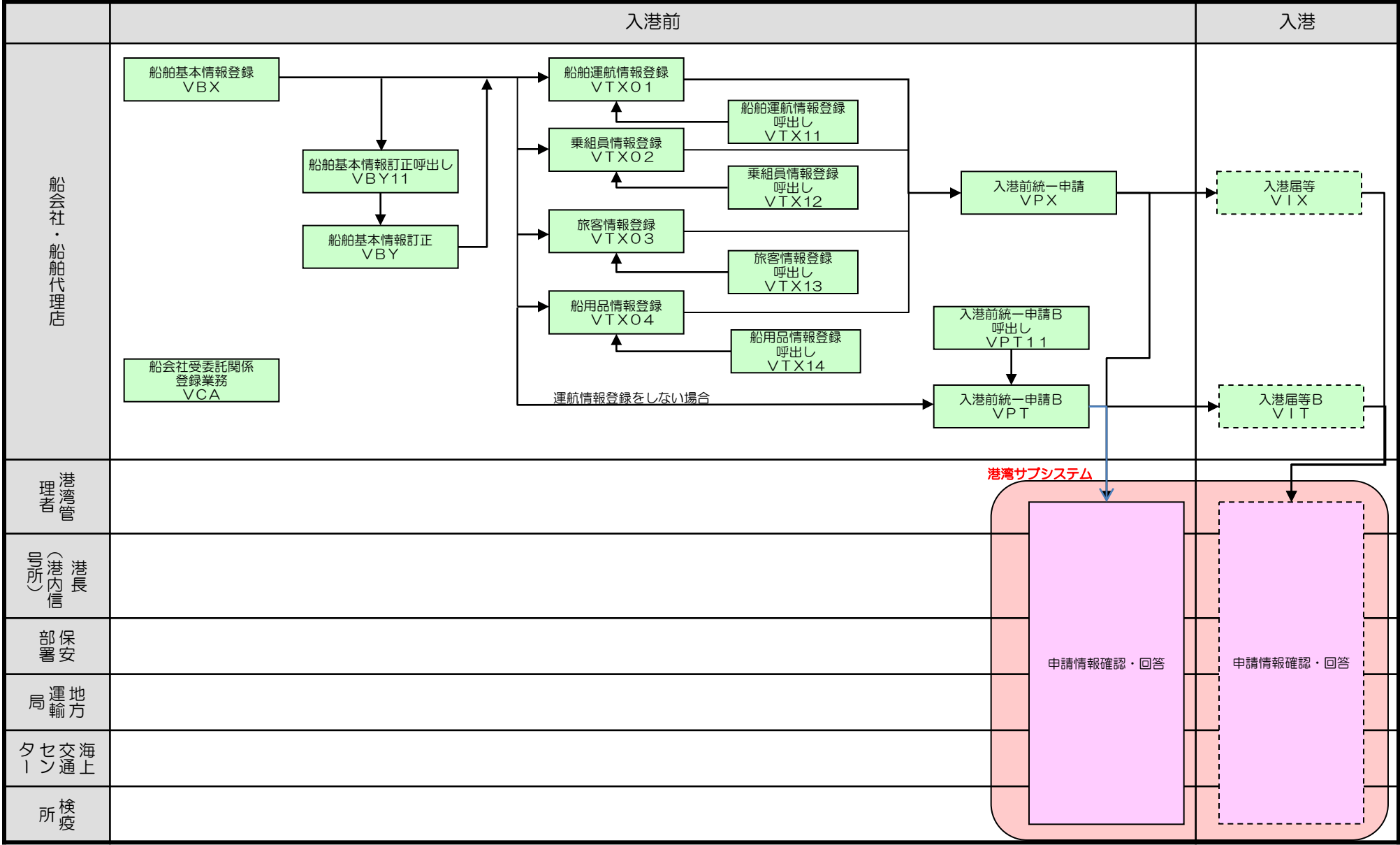


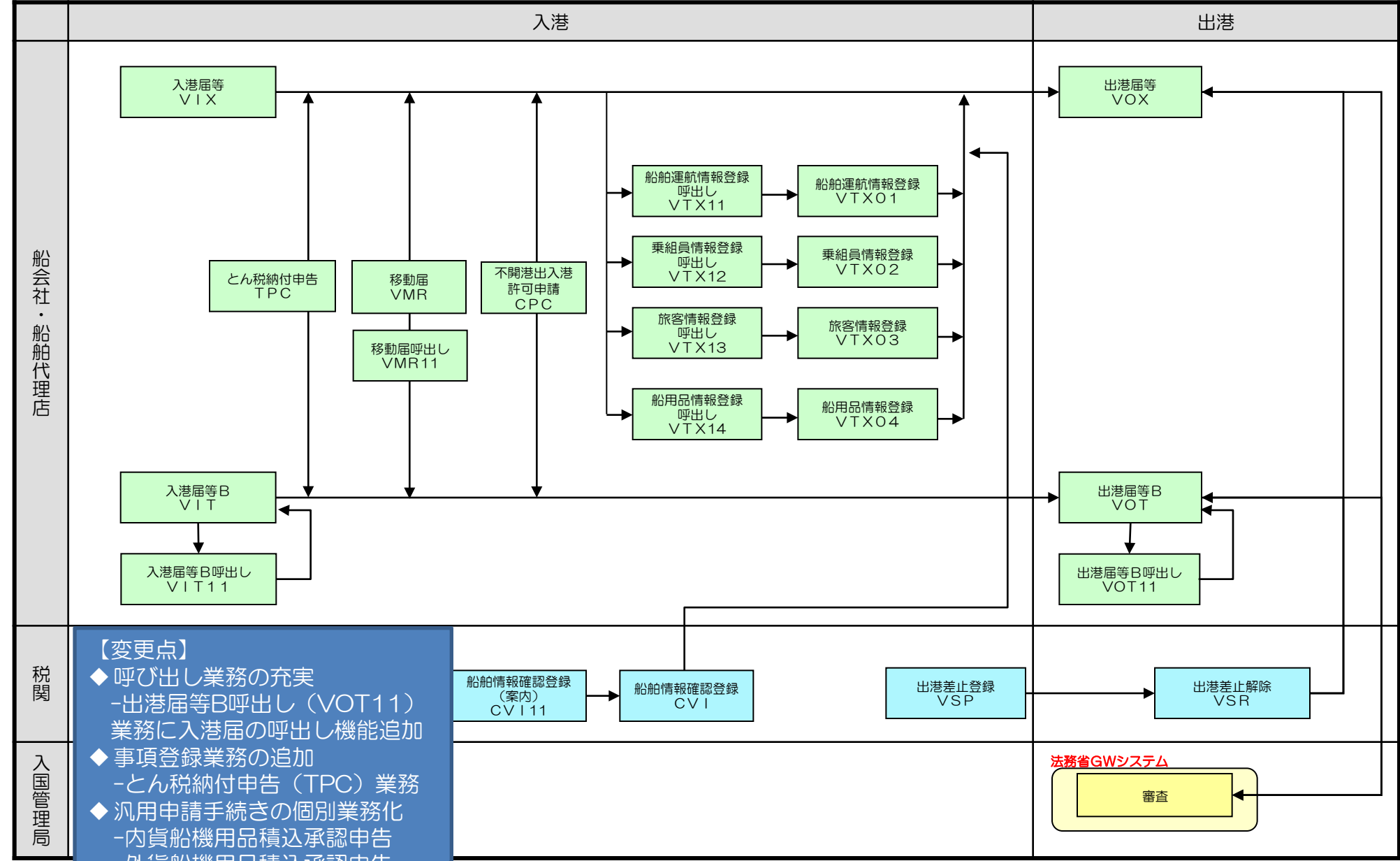
2. 海上・入出港 基本業務フロー（概要）

※フロー図は全て平成26年3月時点のもの





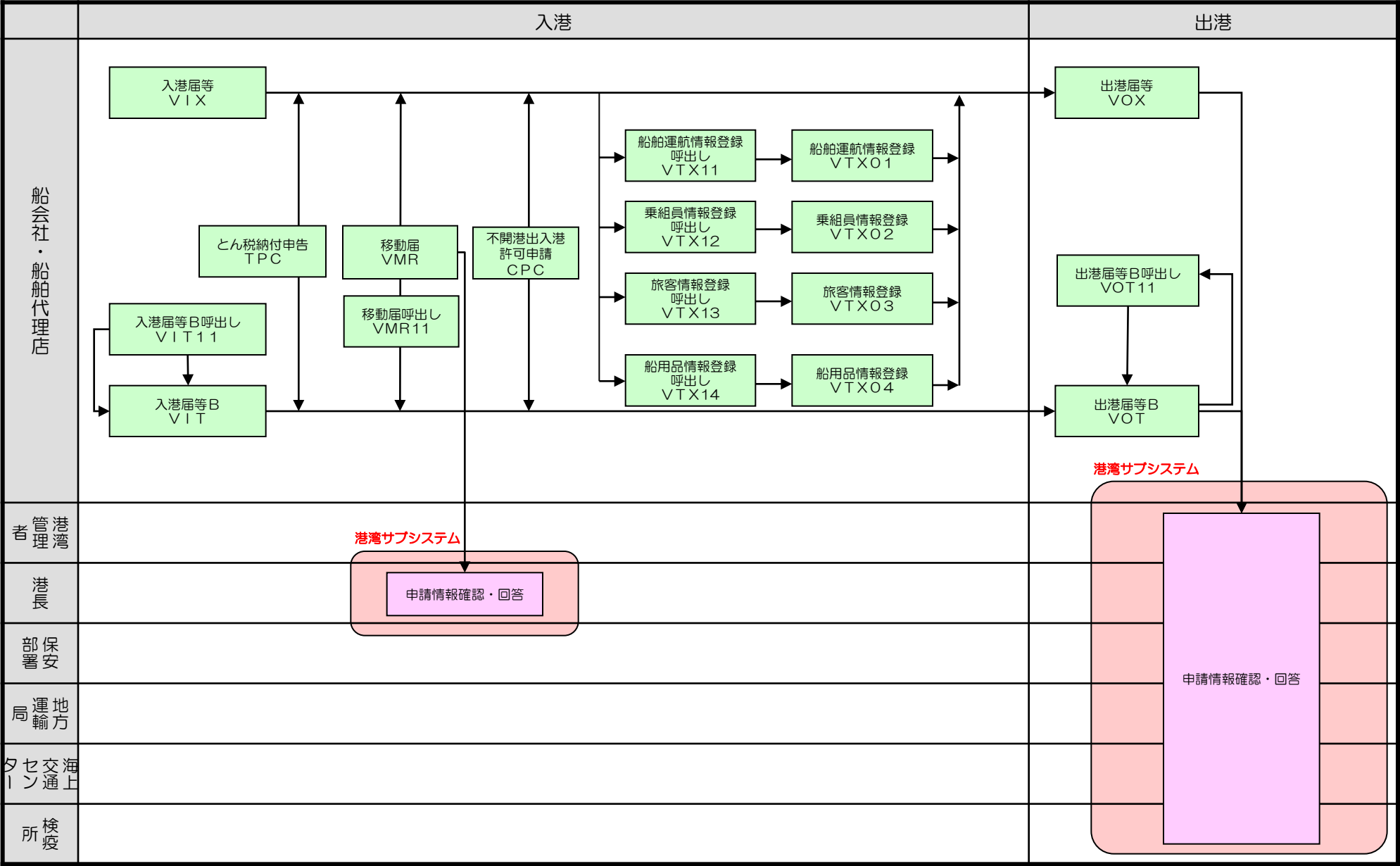




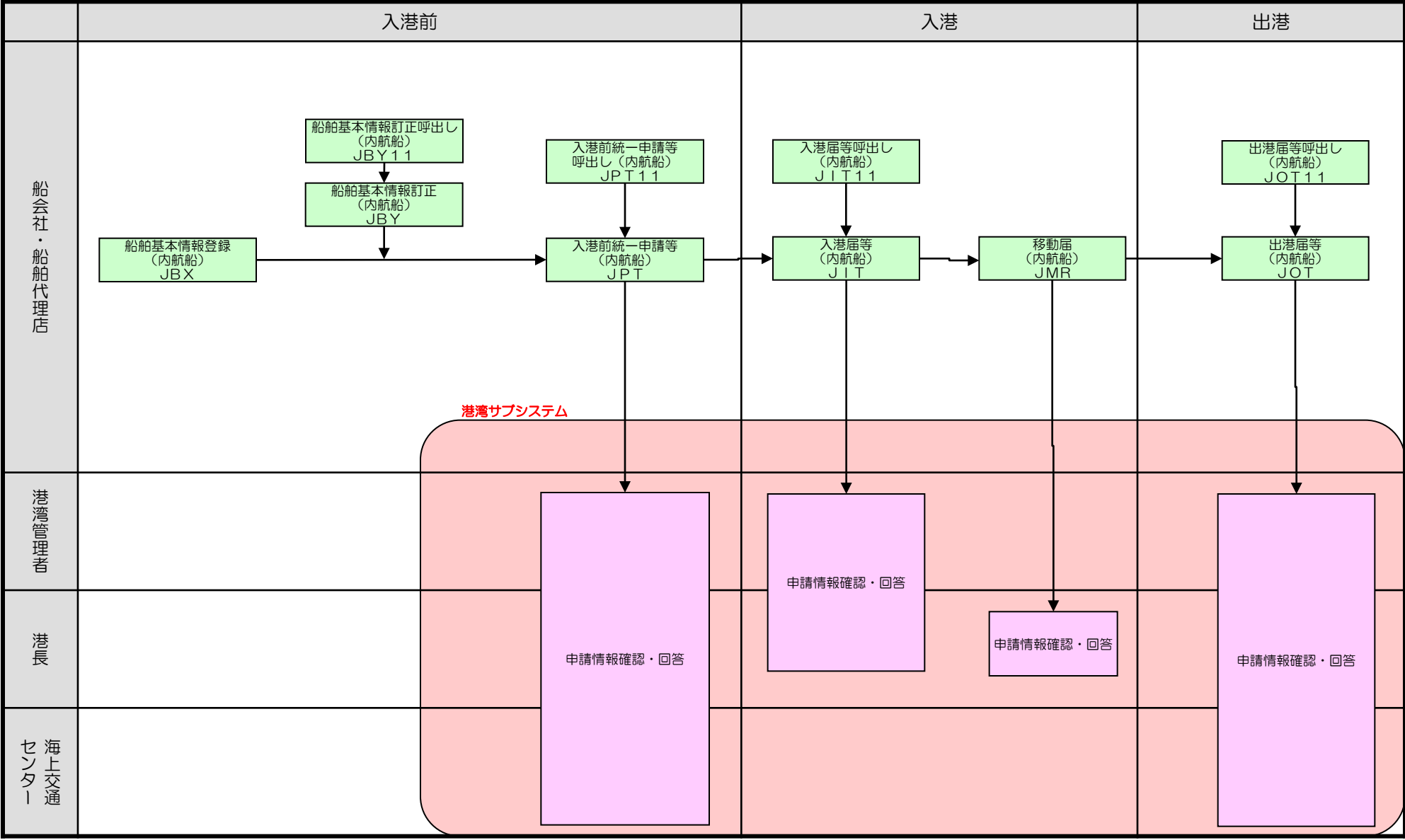
【変更点】

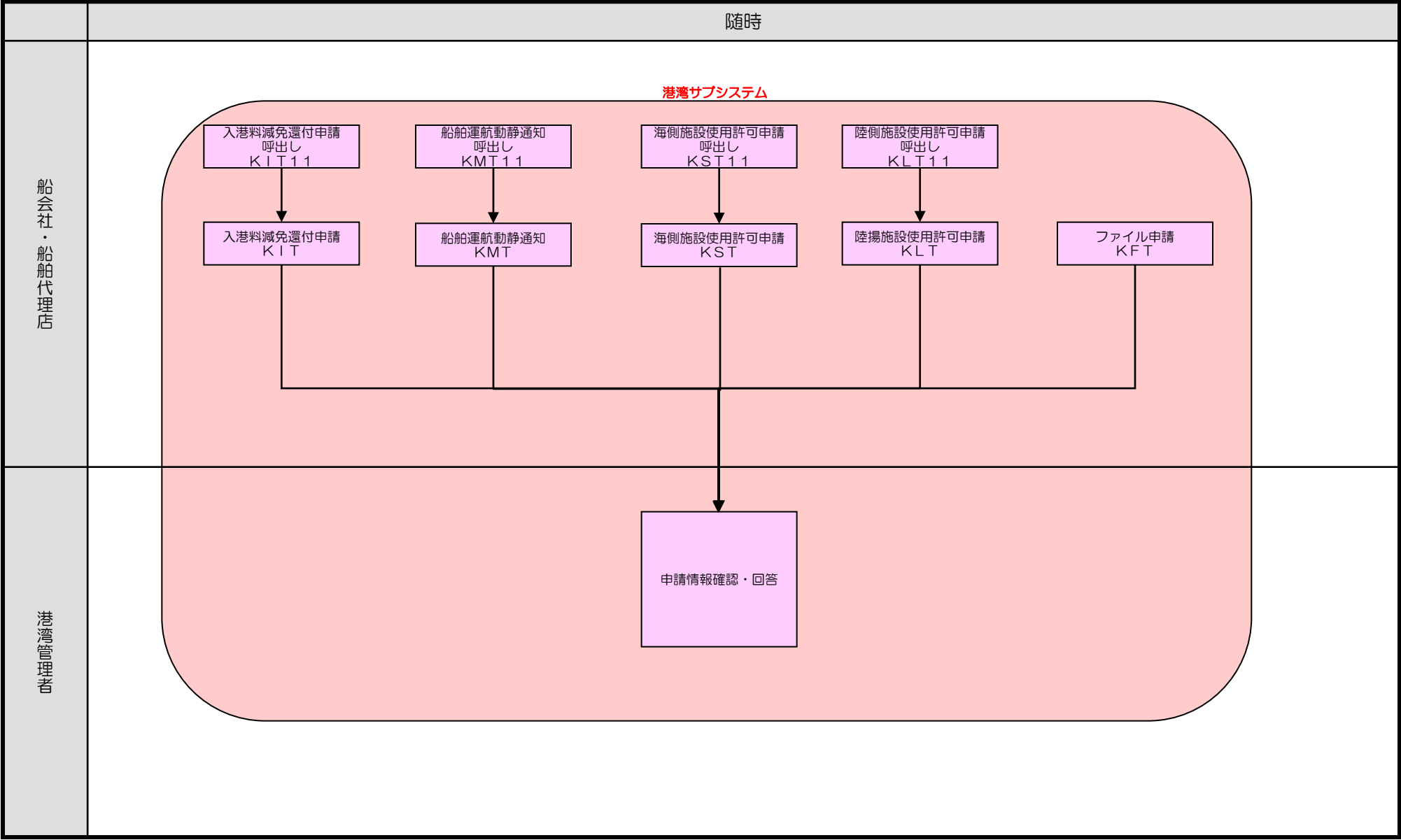
- ◆ 呼び出し業務の充実
 - 出港届等B呼出し（VOT11）業務に入港届の呼出し機能追加
- ◆ 事項登録業務の追加
 - とん税納付申告（TPC）業務
- ◆ 汎用申請手続きの個別業務化
 - 内貨船機用品積込承認申告
 - 外貨船機用品積込承認申告
 - 仮陸揚届出（船用品等）

<<参考>>海上・入出港 詳細業務フロー（外航船- ③入港業務・④出港業務）

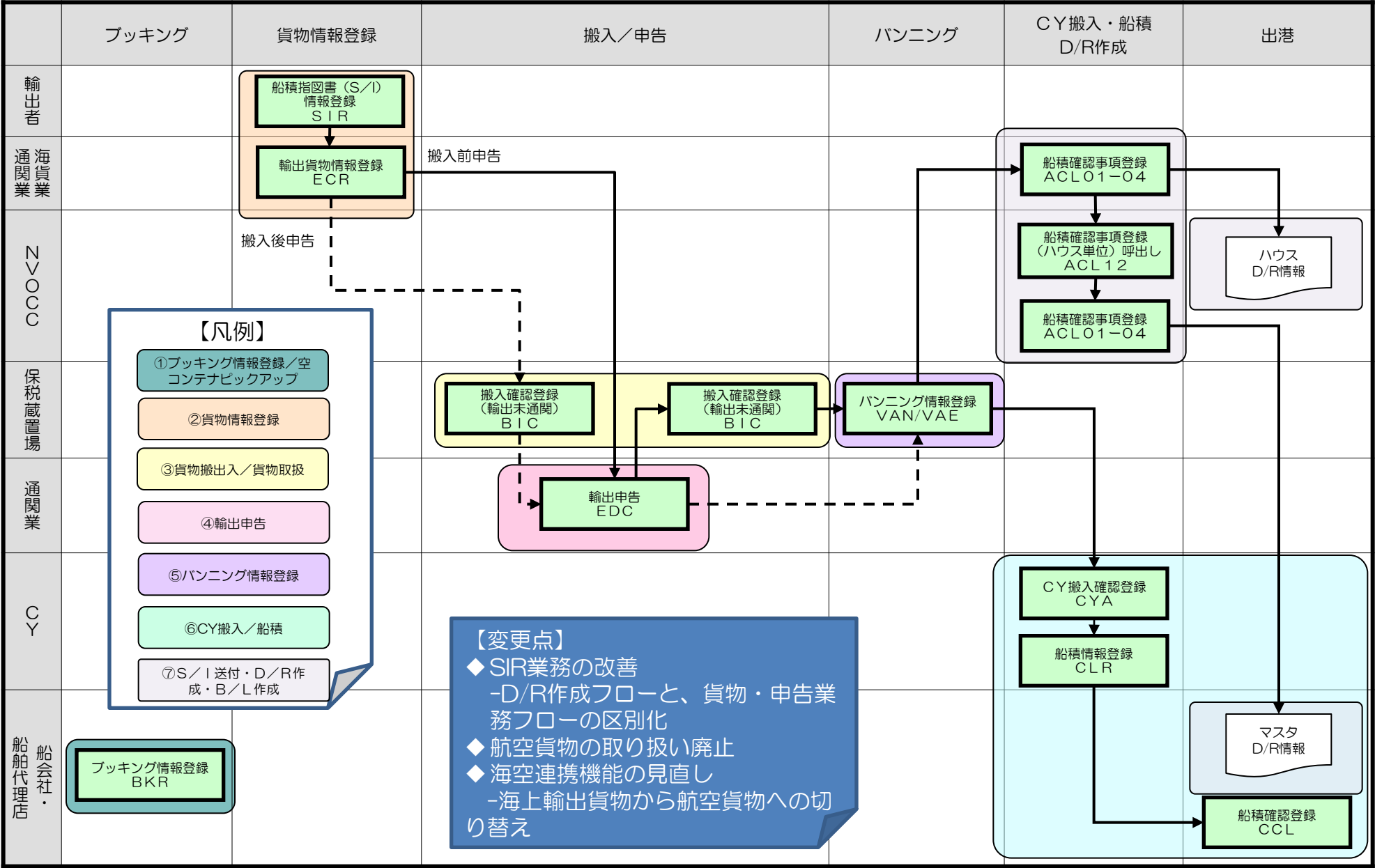


<<参考>>海上・入出港 詳細業務フロー（内航船）

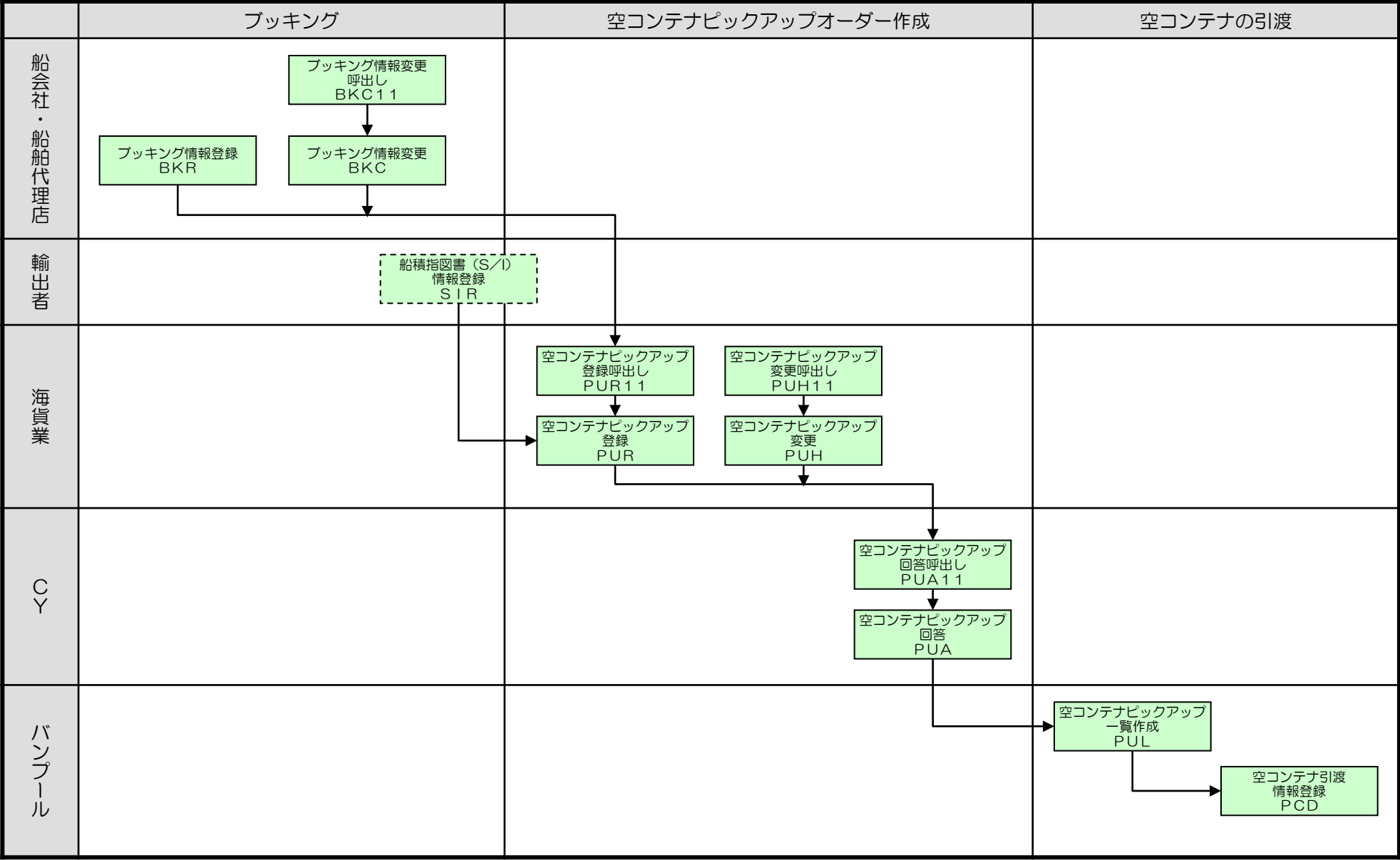


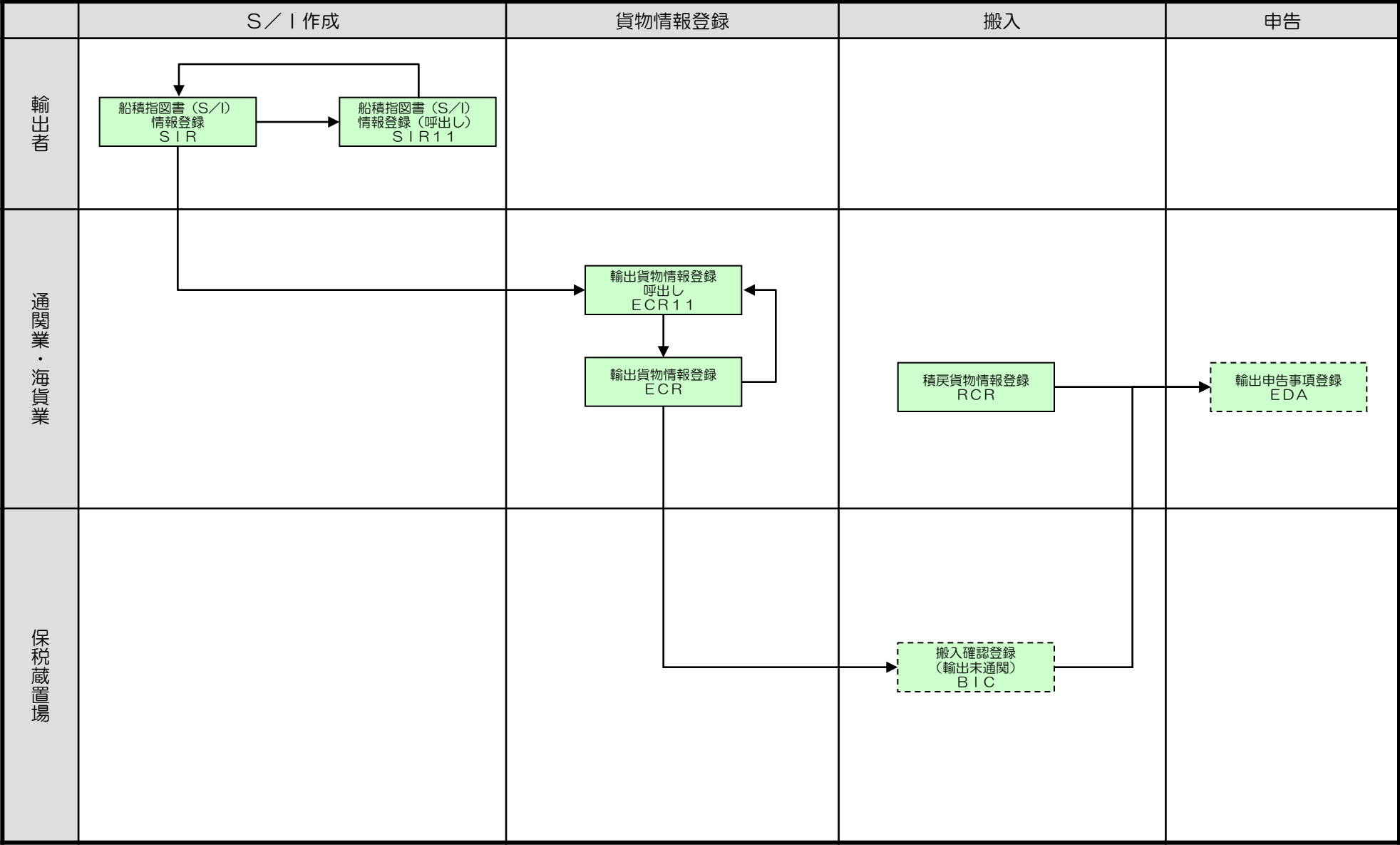


3. 海上・輸出 基本業務フロー（概要）

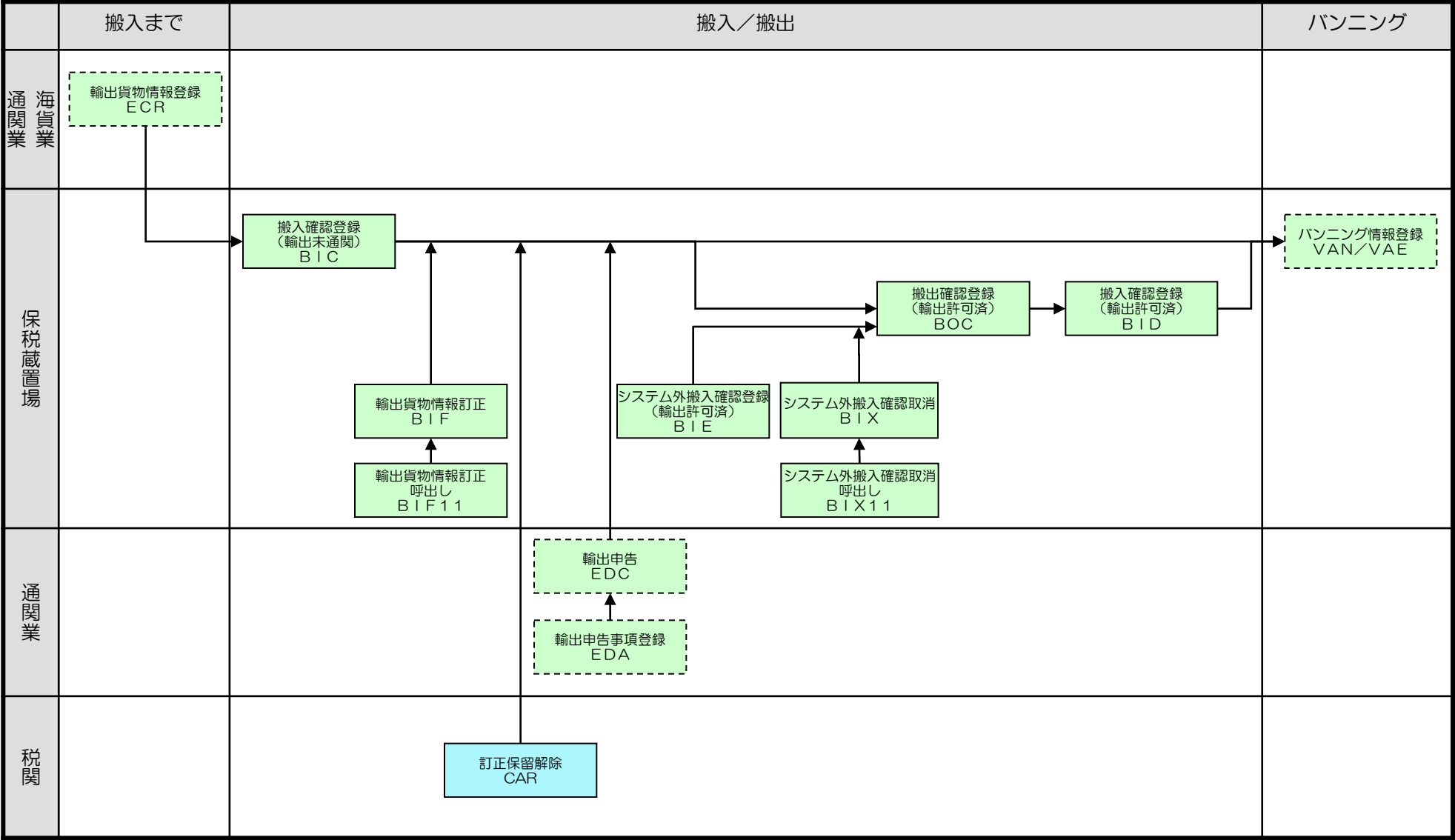


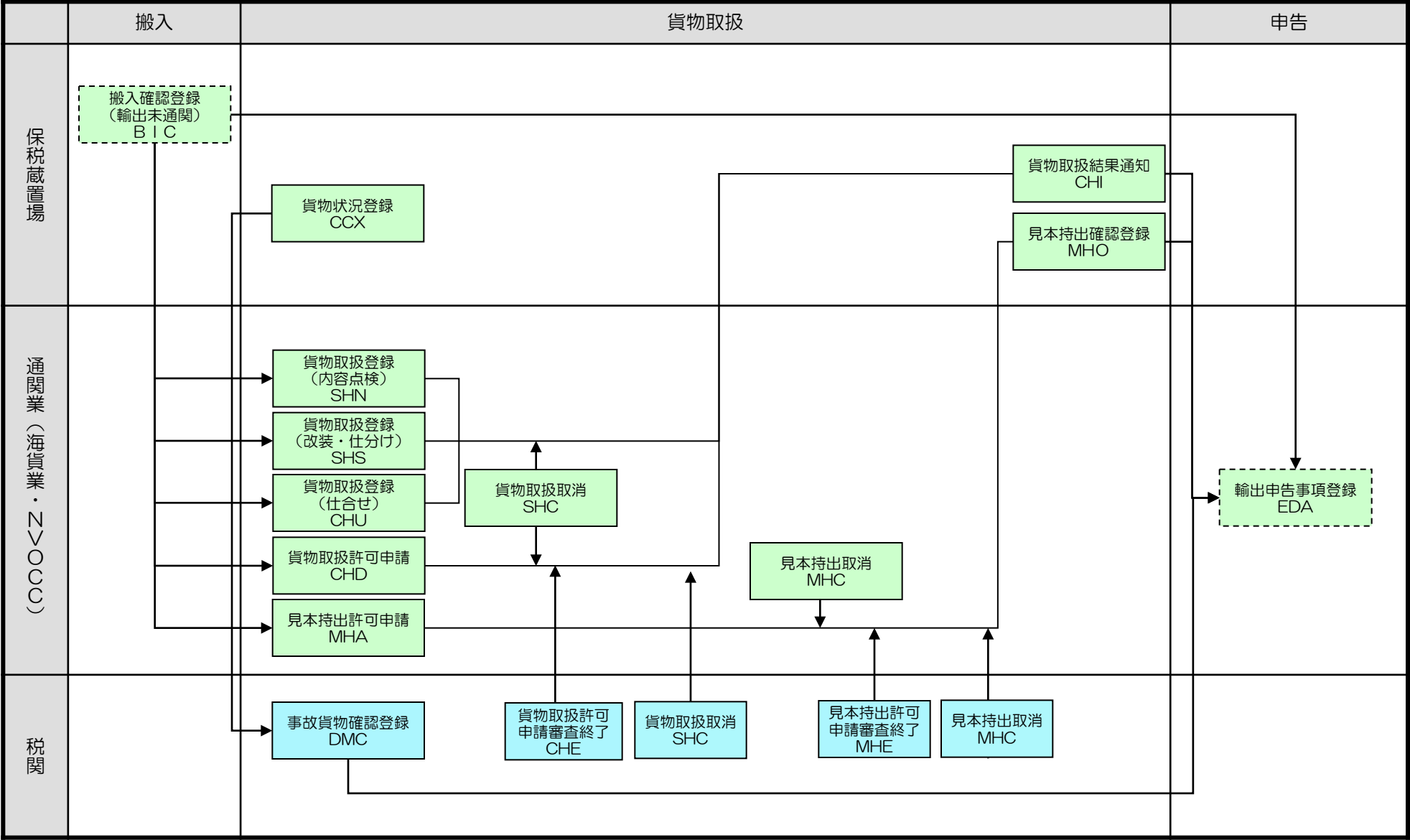
<<参考>>海上・輸出 詳細業務フロー（①ブッキング情報登録・空コンテナピックアップ）



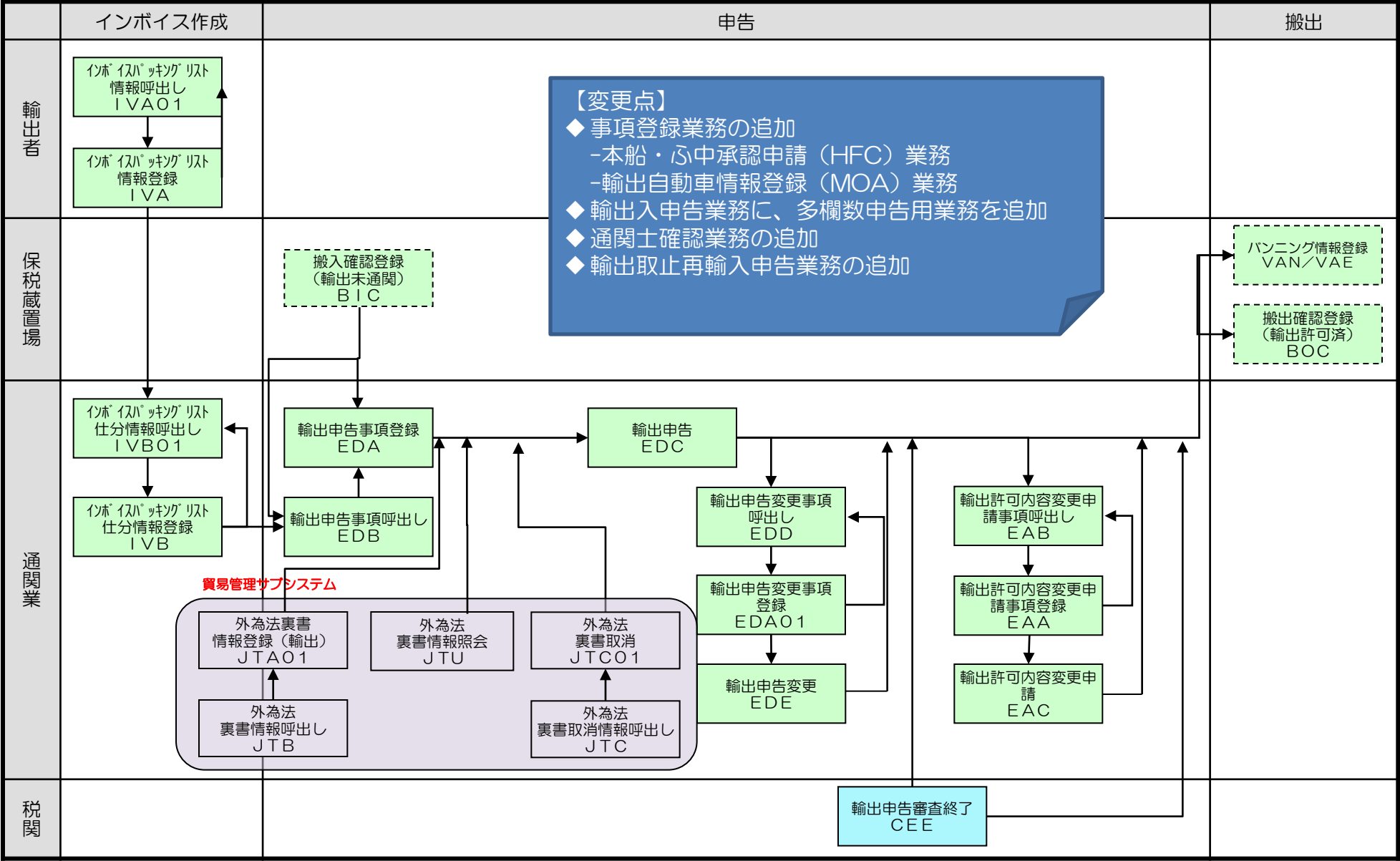


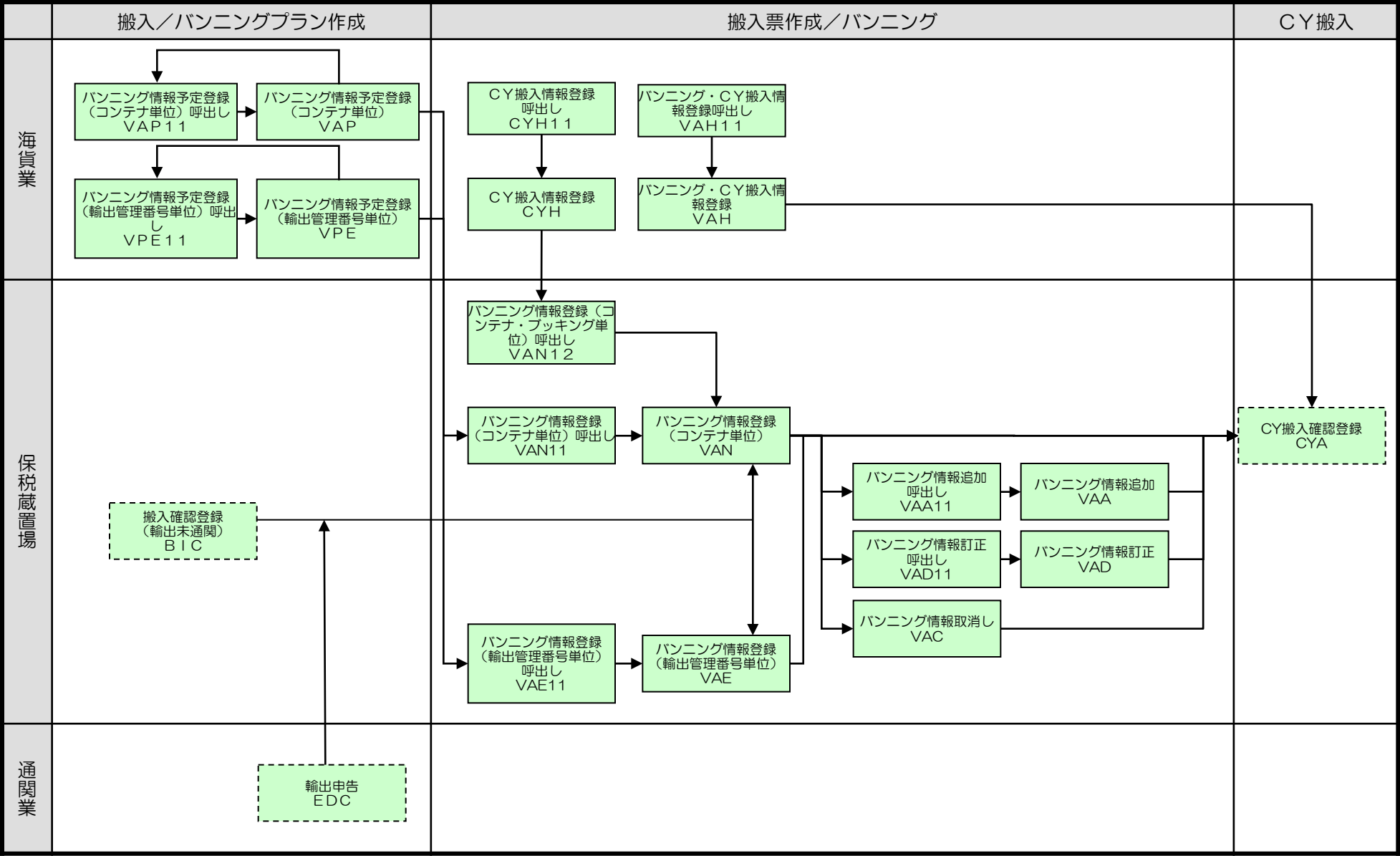
<<参考>>海上・輸出 詳細業務フロー（③－1 貨物搬出入）

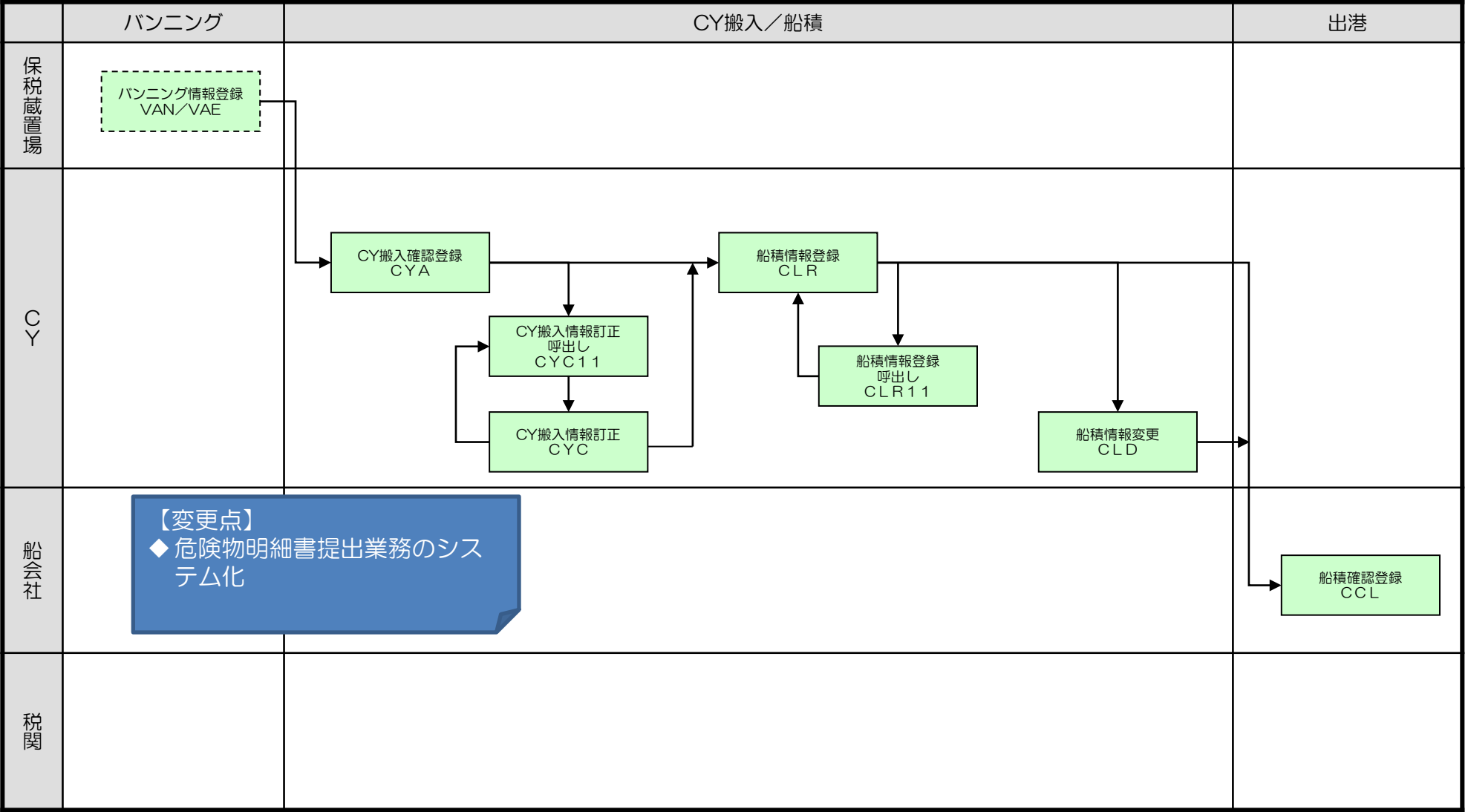


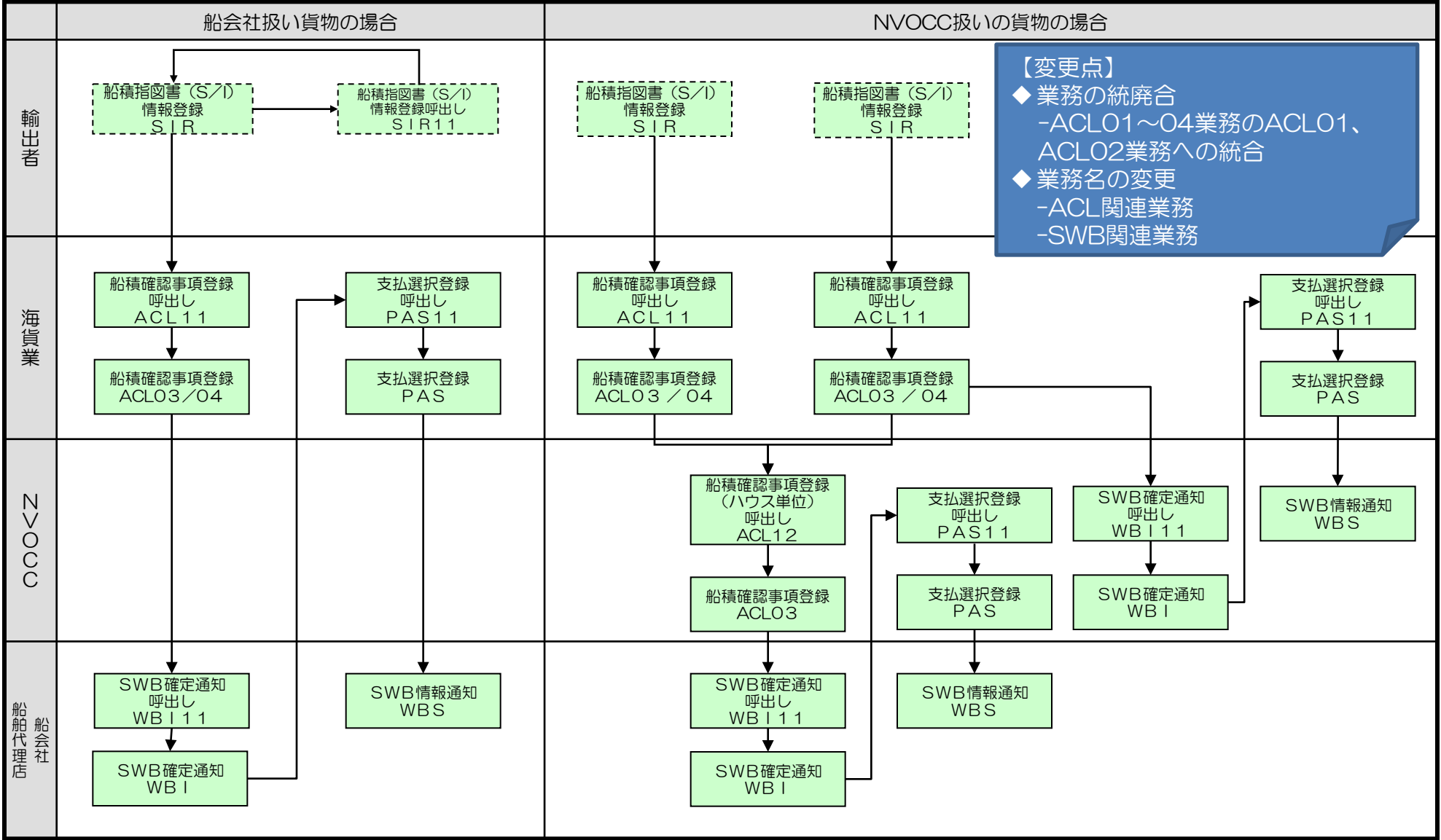


<<参考>>海上・輸出 詳細業務フロー（④輸出申告）

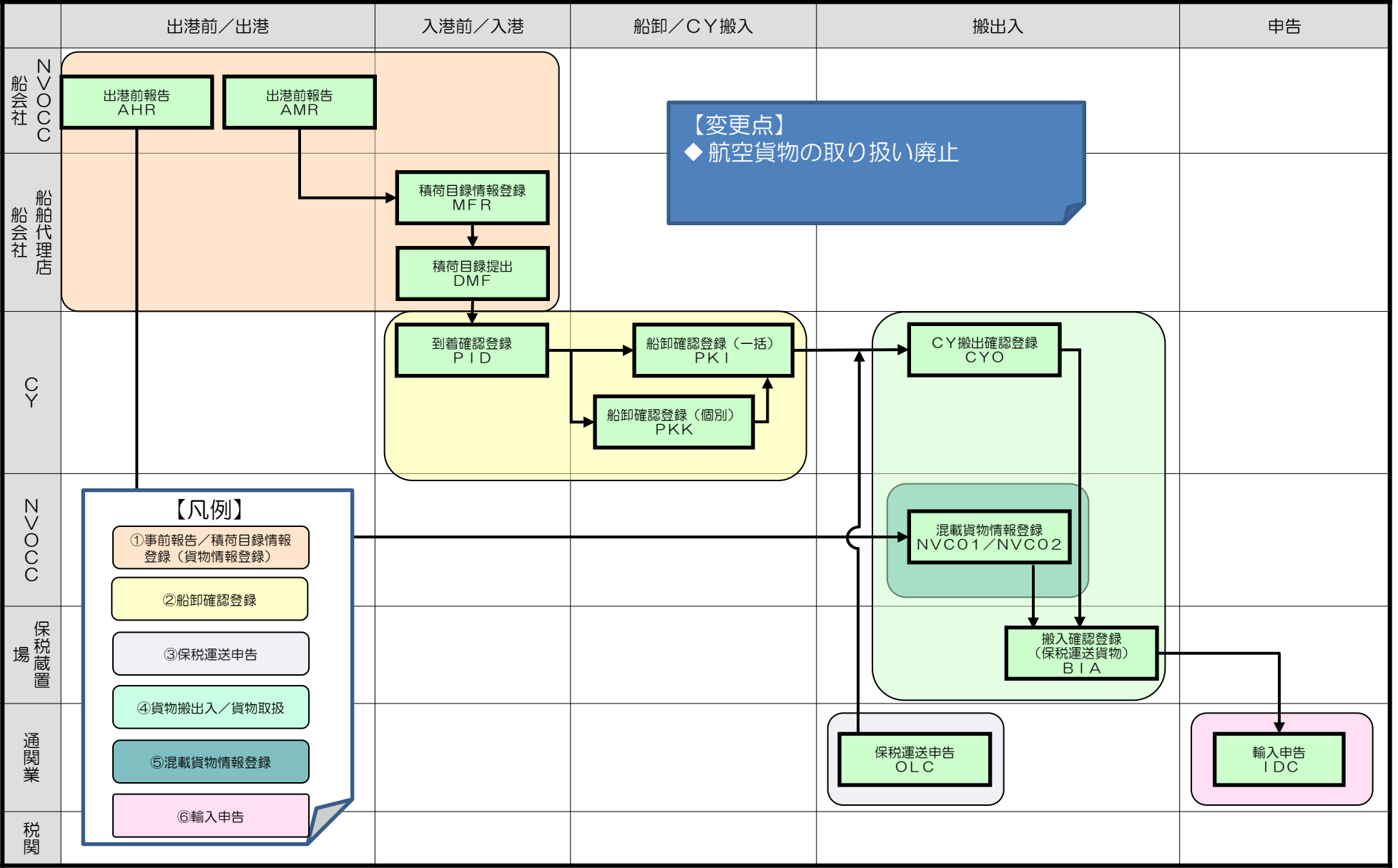




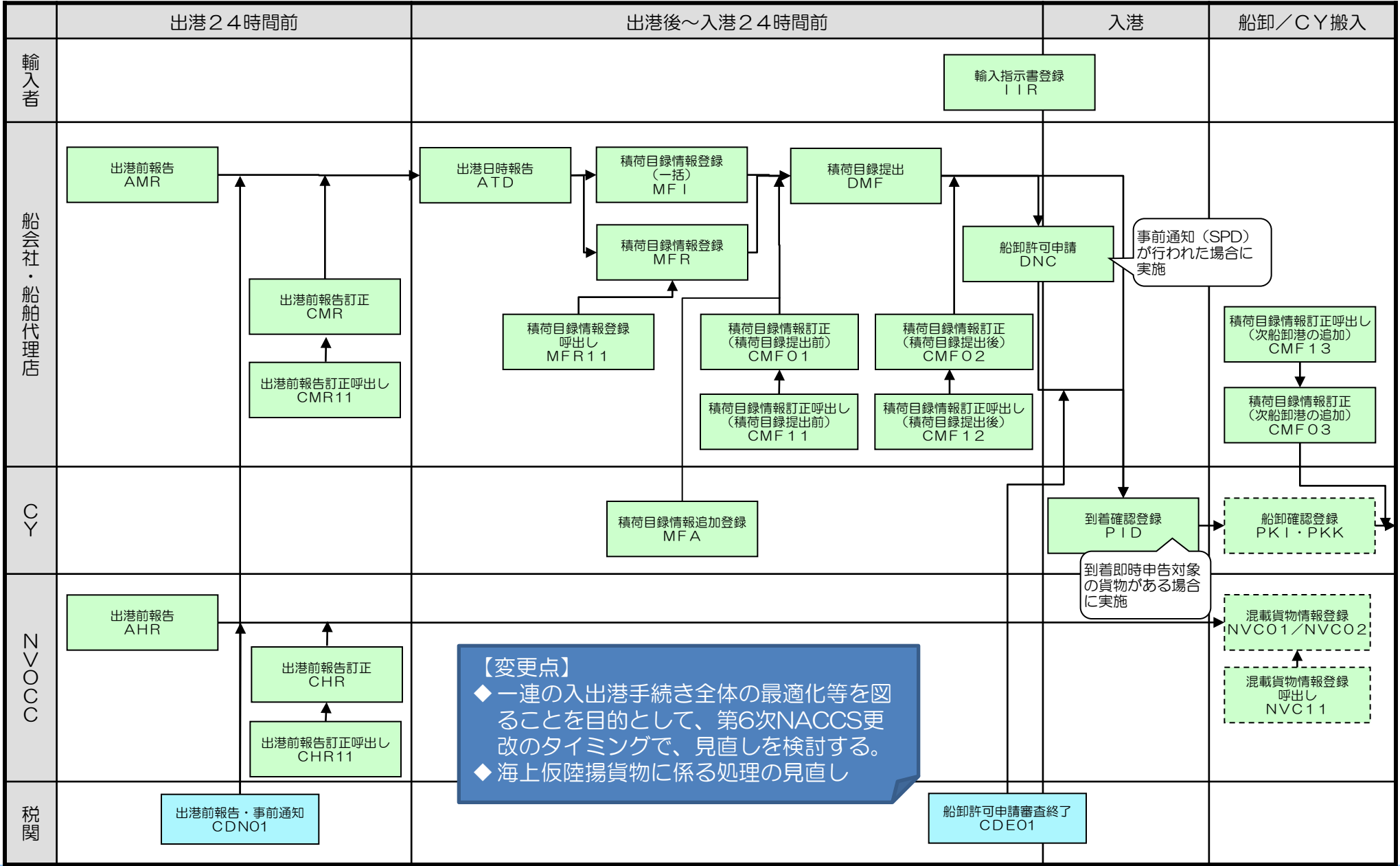


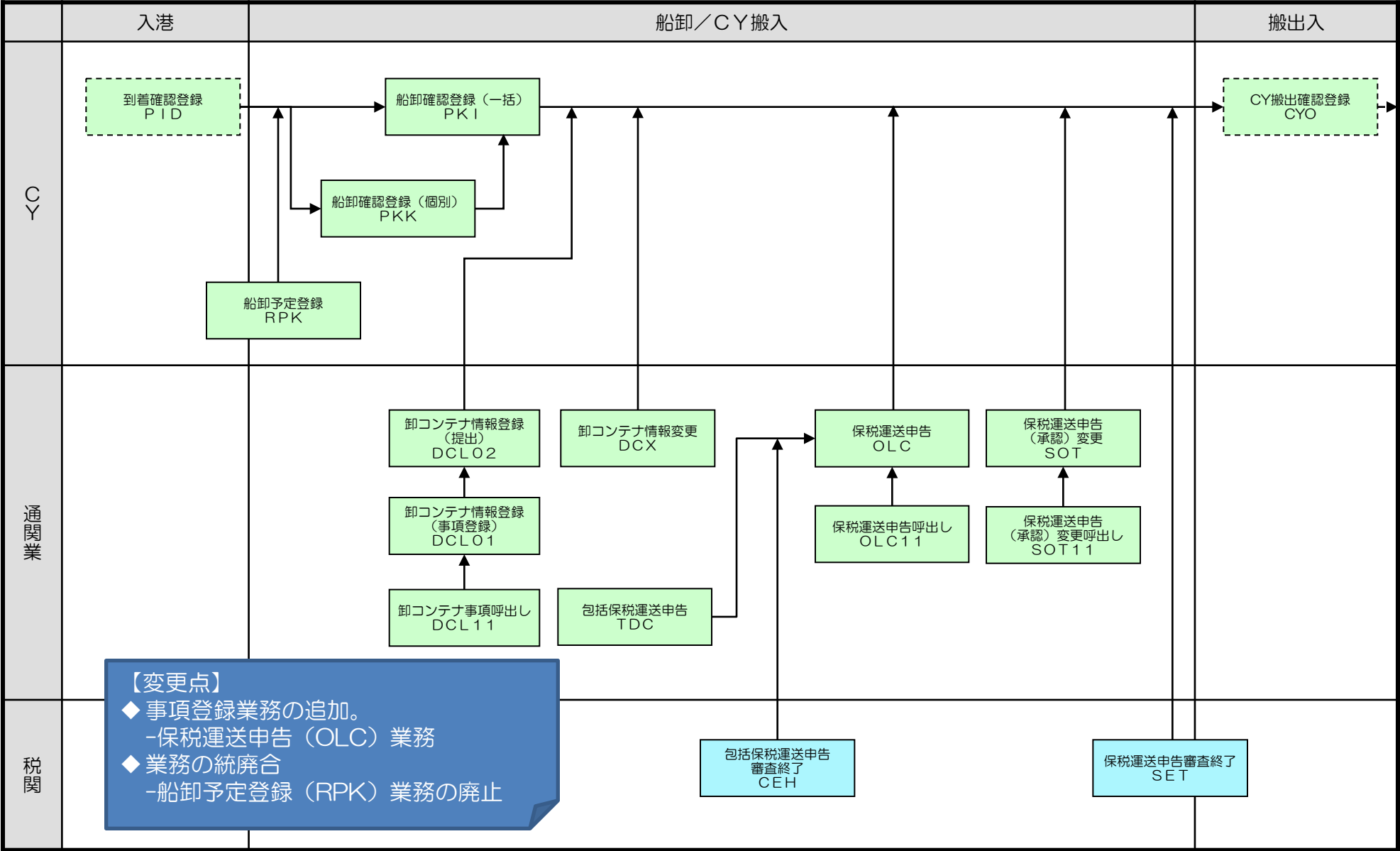


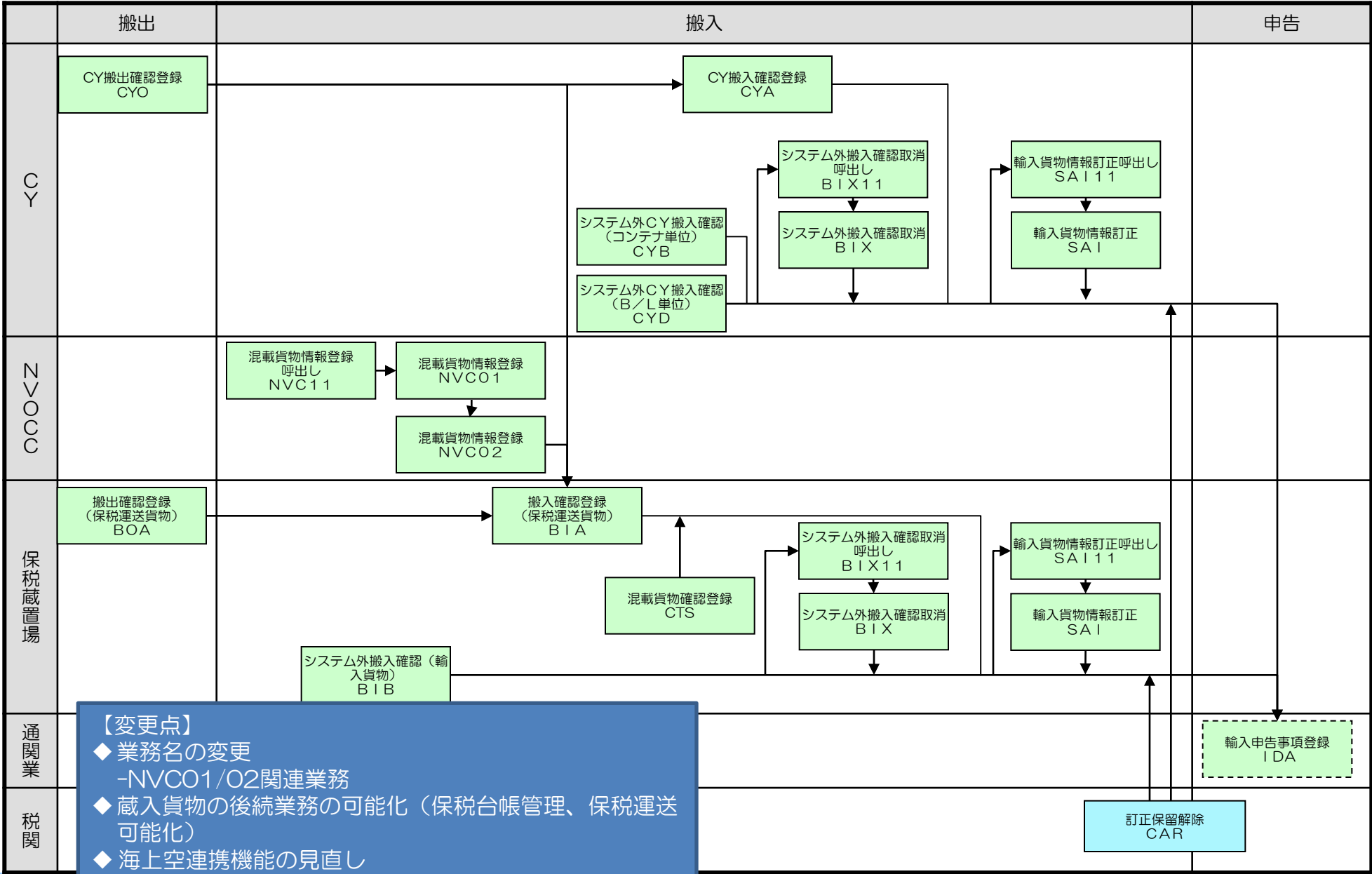
4. 海上・輸入 基本業務フロー（概要）

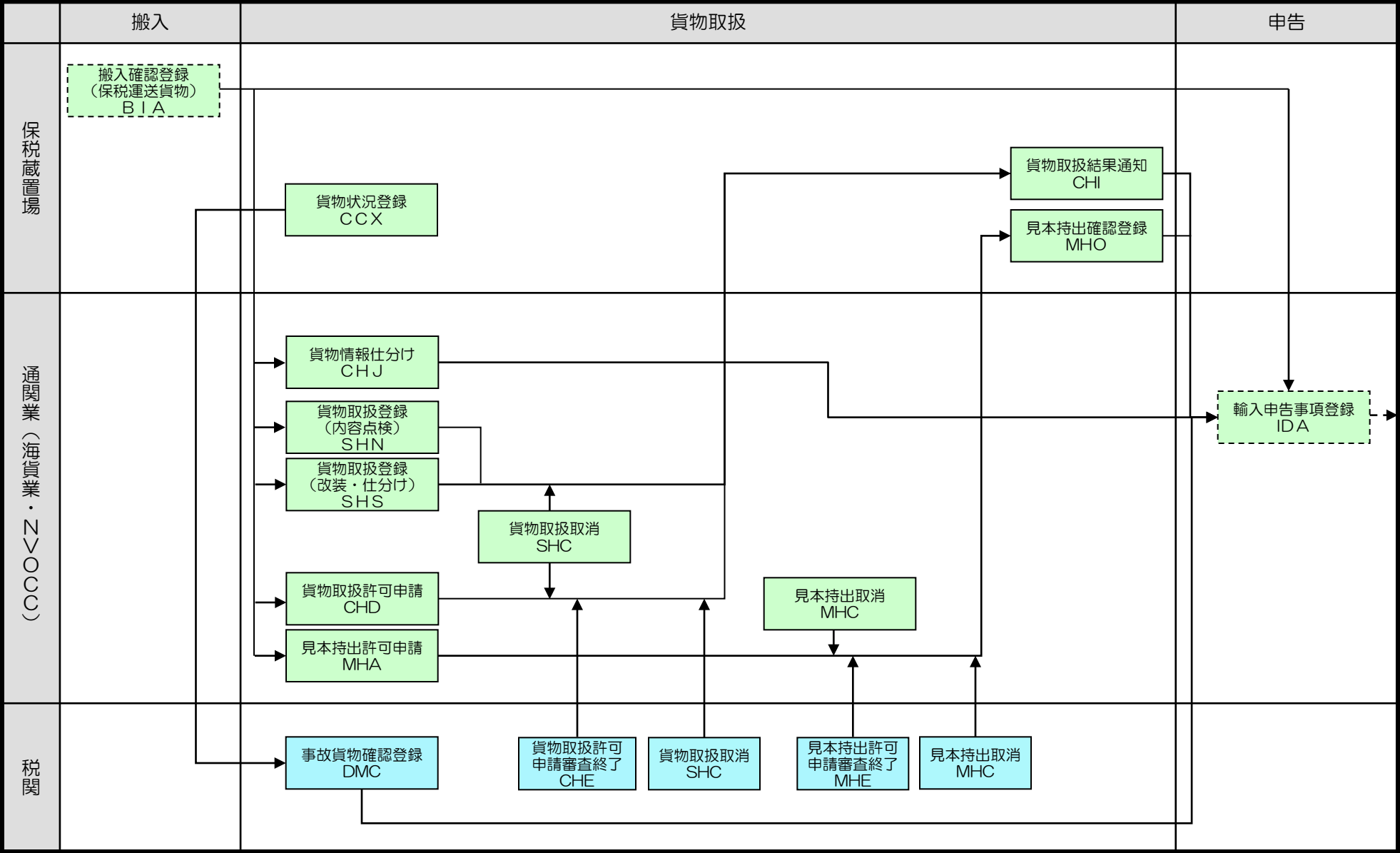


<<参考>>海上・輸入 詳細業務フロー（①事前報告／積荷目録情報登録）

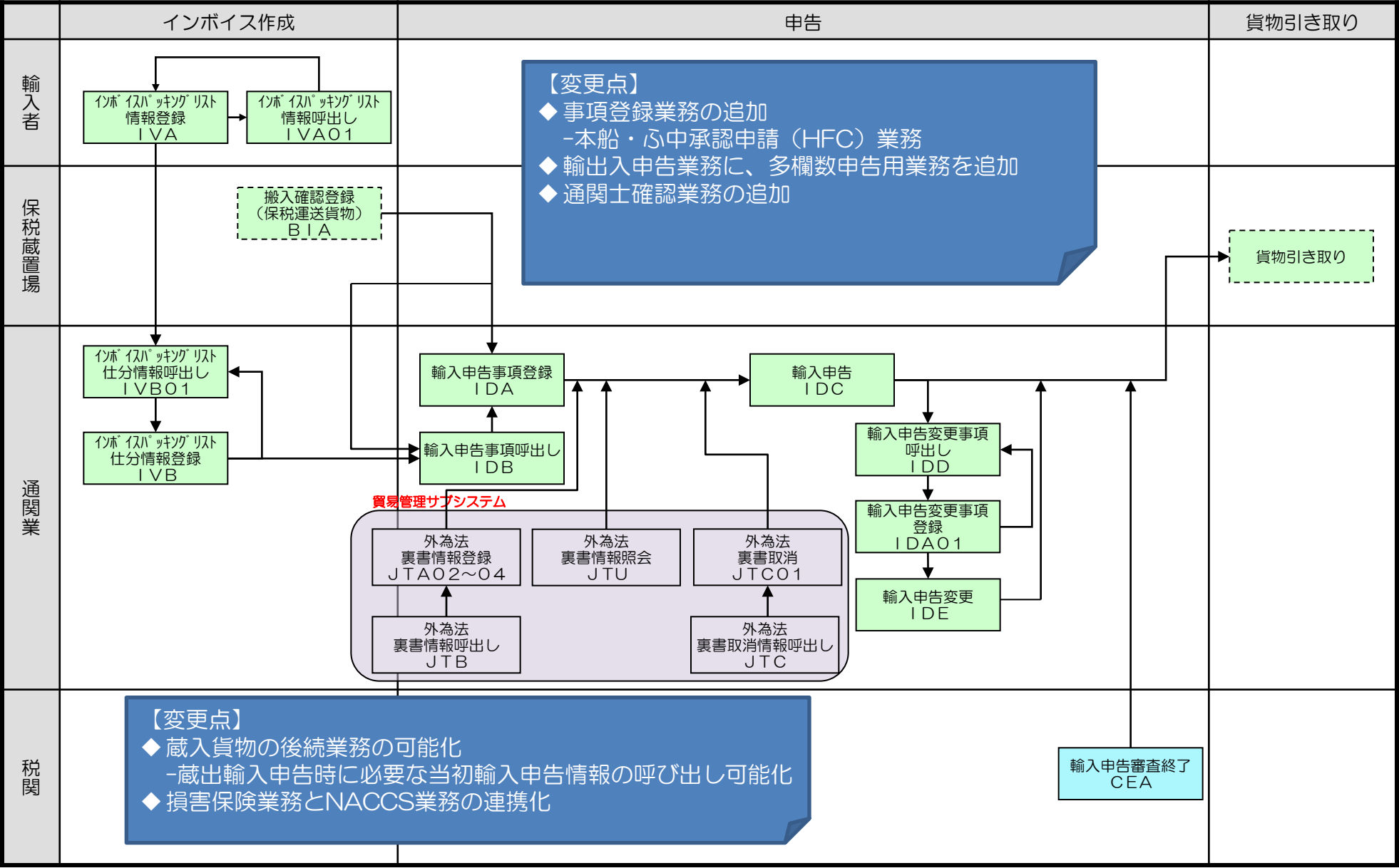


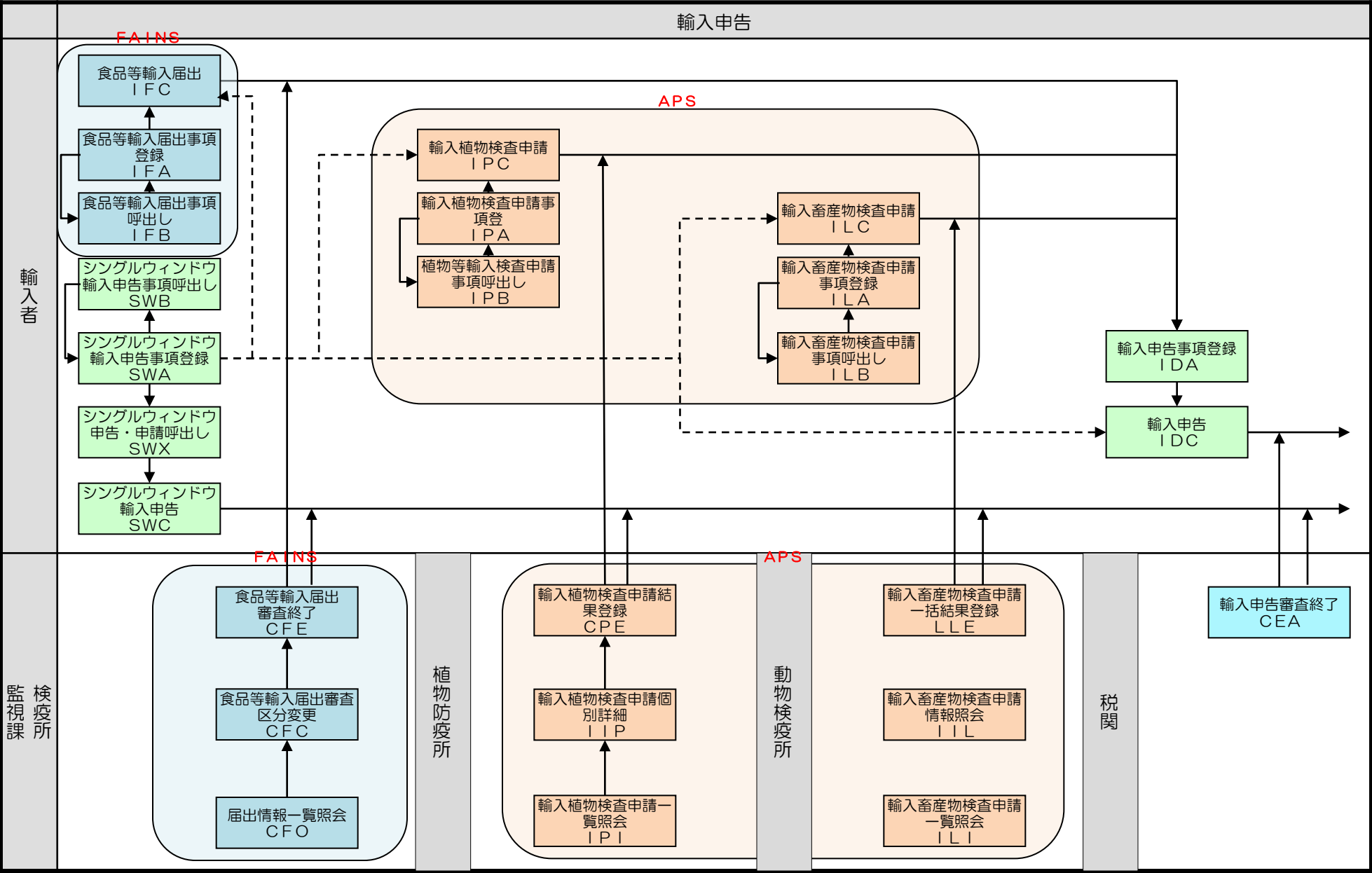


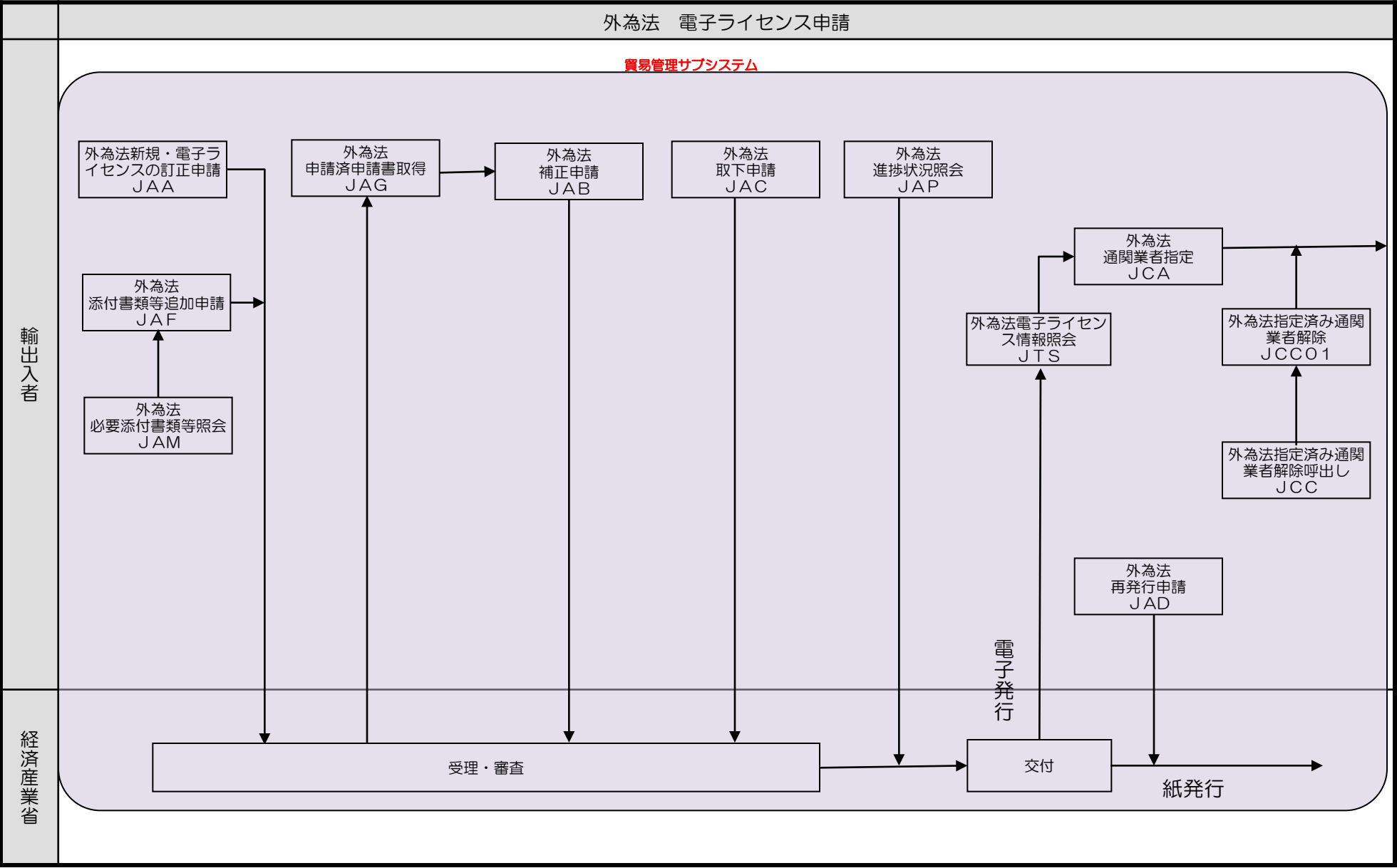




<<参考>>海上・輸入 詳細業務フロー（⑥輸入申告）







参考資料. 個別検討結果

<<参考>>航空更改専門部会及び合同WGにおける検討結果一覧 一①

	開 催 日	議 題
第1回 専門部会	平成24年 5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ NACCSの更改について ・ 開発コンセプトと検討事項 ・ WGにおける個別検討事項 ・ 専門部会等の開催日程と進め方
第1回 合同WG	平成24年 6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本業務フローの確認 ・ 基本業務フローの見直しについて ・ NACCS専用口座の廃止 ・ ダイレクト・インターフェース（X. 25）の廃止
第2回 合同WG	平成24年 7月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連システムの確認 ・ システムの信頼性について ・ バックアップセンター機能の検討 ・ E D I仕様について（電文形式） ・ I P v 6への対応 ・ 端末パッケージソフトの改善 ・ W e b業務の提供 ・ 利用者 I D体系の見直し ・ 添付業務の見直し ・ 海上・航空貨物情報連携の考え方について ・ プログラム変更要望に対する対応について
第3回 合同WG	平成24年 9月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ システム制限値の見直しについて ・ 廃止業務一覧等の提示について ・ 海上システムにおける航空貨物の取扱いについて ・ 決済機能の拡充について ・ 海外との情報の交換について
第4回 合同WG	平成24年10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web業務のご提案 ・ 情報提供機能に特化したサービス（仮称：iNACCS）の提案 ・ 次期システムへの移行方針

<<参考>>海上更改専門部会及び合同WGにおける検討結果一覧 一①

	開 催 日	議 題
第1回 専門部会	平成24年 5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ NACCSの更改について ・ 開発コンセプトと検討事項 ・ WGにおける個別検討事項 ・ 専門部会等の開催日程と進め方
第1回 合同WG	平成24年 6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本業務フローの確認 ・ 海上輸出関連業務の改善（案） ・ 海上S/W業務（入出港業務）の見直し（案） ・ NACCS専用口座の廃止 ・ 海上B/L桁数の35桁運用の実施
第2回 合同WG	平成24年 7月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関連システムの確認 ・ システムの信頼性について ・ バックアップセンター機能の検討 ・ E D I仕様について（電文形式） ・ I P v 6への対応 ・ 端末パッケージソフトの改善 ・ W e b業務の提供 ・ 利用者 I D体系の見直し ・ 添付業務の見直し ・ 海上・航空貨物情報連携の考え方について ・ プログラム変更要望に対する対応について
第3回 合同WG	平成24年 9月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ システム制限値の見直しについて ・ 廃止業務一覧等の提示について ・ 海上システムにおける航空貨物の取扱いについて ・ 決済機能の拡充について ・ 海外との情報の交換について
第4回 合同WG	平成24年10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ Web業務のご提案 ・ 情報提供機能に特化したサービス（仮称：iNACCS）の提案 ・ 次期システムへの移行方針

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
1. 業務仕様見直しの考え方		基幹業務及び基本業務仕様については、現行仕様の堅持を基本とし、大幅な見直しは実施しない方向性とするが、現行システムから参加している輸出入者、NVOCC及び海貨業者に係る業務については、再度、見直しの必要性も含めて検討する。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	安定性・信頼性の確保の観点から、基本業務フロー、基幹業務について大幅な見直しは行わない。	航空	意見として頂戴した現行仕様に対する要望のうち、別紙の項目については、詳細仕様において検討する。
航空	現行の輸入貨物管理方法は堅持しつつ、輸入混載貨物の搬入確認業務等において、1つの便で到着したHAWBに対して、複数回に分けての登録不可という業務実態とシステム処理でかい離している部分について、一部見直しを行うことによって改善を図る。	海上	意見として頂戴した現行仕様に対する要望のうち、別紙の項目については、詳細仕様において検討する。

WGにて業務仕様見直しの考え方で頂戴したご意見のうち、以下の項目については、詳細仕様において検討する。

区分	検討事項
航空	個数違いによるD I SCREPANCY NOTICEの出力条件
航空	ジョイント入力の廃止
航空	MAWB情報が保存期間を超過し、削除された場合におけるHAWB情報削除の可否
航空	EXM 業務またはEXA処理されたLDRの書式について、LDR単位の搬入総個数を表記する
航空	一部ULDを搬入、ULC業務で積付け解除した場合においても、CLB業務を可能とする
航空	ULC業務を実施せずとも、MAWB単位で搭載を可能とする
航空	IES業務について、仕向地の項目を追加 及び申告時間順の表示に変更する
航空	HDE業務の複数件一括処理機能の追加
航空	仕出地及び仕向地の入力コードの関係
航空	要目訂貨物の汎用申請業務化
航空	業務コード名の統一化（下2桁に数字が付記されている業務）
航空	BILL情報の配信機能の実装
航空	通関処理における保税蔵置場CREDITコード項目の追加（IDA業務にBILLの請求先コード欄を追加）

WGにて業務仕様見直しの考え方で頂戴したご意見のうち、以下の項目については、詳細仕様において検討する。

区分	検討事項
海上	RSSO1業務における通知先間違いの場合、エラーの通知又は訂正機能の追加
海上	BIB業務における保税運送承認番号の複数件入力
海上	CHJ業務実施後、B/L番号体系変更の場合でも、当初のB/L番号におけるRSSO1業務を実施可能とする
海上	ICG業務の全体情報に搬入日を反映する
海上	PUR業務の利用業種追加
海上	船会社→NVOCC向け及びNVOCC→海貨業向けのD/O IDの通知というDOR業務の2段階化
海上	コンテナ番号の誤登録に対応した訂正業務の追加
海上	業務フローにおける利用業種の位置づけの明確化

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
2. 航空システムと海上システムにおける対象貨物の整理		<p>現行システムでは、海上システムにおいて航空貨物の取扱いが可能となっているが、これの廃止について検討する（既に統合システムとなっていることを踏まえ、航空貨物は航空機能、海上貨物は海上機能で処理することを前提とする。）。また、空－海連携機能のあり方についても検討する。</p>	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	海上システムで航空貨物を扱う機能を廃止し、海上貨物は海上システムで、航空貨物は航空システムで処理することにより、一気通貫処理を原則とする。	海上	イレギュラーケース①における連携機能業務を行った場合の輸出許可後訂正業務の実施時期については、詳細仕様において検討する。
共通	<p>イレギュラーケースとして、以下の2ケースについては、システムにおける連携機能を提供する。</p> <p>①当初海上貨物として輸出する予定であったが、航空機で搭載することになった輸出貨物</p> <p>②当初海上貨物として日本に船卸され、航空機で搭載する仮陸揚貨物</p>	共通	同一の貨物に対して、管理資料が海上システム、航空システムにまたがって配信されてしまうことに対する対応については詳細仕様において検討する。

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
3. NACCS専用口座の廃止		現行システムから導入したリアルタイム口座振替方式の利用が順調に増加していることから、専用口座を廃止することについて検討する。なお、リアルタイム口座振替方式については、納期限延長対応についても検討する。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	納付方法のうち、口座振替（専用口座）を廃止する。 （専用口座の廃止は現行システムライフ期間中の平成28年度末を目途とする。）		特になし
共通	納期限延長における納付方法として口座振替（リアルタイム口座）を新たに追加することを検討する。		

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
4. プログラム変更要望の対応		プログラム変更要望のうち、更改等のタイミングで検討する必要がある案件について整理・検討する（輸出取止再輸入、輸入別送、関係省庁業務等）。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	<p>以下の手続き等のシステム化について検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 輸出取止め再輸入手続きのシステム化 ・ 事項登録業務・確認業務の追加 ・ 蔵入貨物の後続業務の可能化 ・ 通関士確認業務の追加 	共通	WGにおいて提案した内容は、基本仕様に大きく影響すると考えられるものを対象としたものであり、これまでNACCSセンタに寄せられているプログラム変更要望のうち、第6次NACCSで検討が必要としているものについては、詳細仕様において検討する。
航空	航空輸入貨物についてULD単位による貨物管理の可能化について検討する。		
海上	空コンテナの仮陸揚げ対応及び危険物明細書のシステム化を検討する。		

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
5. 添付業務の見直し		現在の添付業務の制限値等の見直しについて検討する。（25年10月の制度改正の検討状況を考慮する。）	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	ファイル添付の仕組みを汎用化し、どの業務に対してもファイル添付を可能とする仕組みを提供する。また、その仕組みを提供する為のシステム構成、ネットワーク構成を検討する。	共通	出力情報のあり方については、詳細仕様において検討する。
		共通	対象業務については、詳細仕様において検討する。
		共通	添付された電子ファイルの取得方法については、詳細仕様において検討する。

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
6. システム対象業務の見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・新規業務等の必要性について検討する。 ・汎用申請業務から個別業務への変更の必要性について検討する。 	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	<p>(1) 汎用申請業務の個別業務化</p> <p>現状、HYS業務にて対応している手続きのうち、申請件数が多い以下の手続きについて、個別業務化を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内貨船機用品積込承認申告 ・内貨船機用品積込承認申告（包括） ・外貨船機用品積込承認申告 ・外貨船機用品積込承認申告（包括） ・船用品積込確認 ・仮陸揚届出（船用品等） ・仮陸揚船用品等積込確認 	海上	ACL業務の業務名については、詳細仕様において改めて検討する。
	<p>(2) 現行オンライン業務の廃止</p> <p>現行オンライン業務として提供している以下の業務について、第6次NACCSでは廃止とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システム外CY搬入確認（コンテナ単位）（事前登録）（CYB01） ・システム外CY搬入確認（BL単位）（事前登録）呼出し（CYD11） ・船卸予定登録（RPK） 		

区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	<p>(廃止業務 続き)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペイメント情報照会 (PAY) ・口座残高証明額訂正 (呼出し) (BAA) ・口座残高証明額訂正 (BAA01) ・納付書情報 (口座) 再出力依頼情報登録・変更 (DLS05) ・空コンテナ引取予定情報通知 (RSS) ・空コンテナ引取予定確認情報通知 (RST) 		
	<p>(3) 現行オンライン業務の統廃合</p> <p>現行オンライン業務として提供している以下の業務について、第6次NACCSでは類似業務として統廃合する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ACLO1/ACLO3 → ACLO1 (業務名称の見直しを検討) ・ACLO2/ACLO4 → ACLO2 (業務名称の見直しを検討) ・VAN11/VAN12 → VAN11 ・LDR/WBI → BLI 	共通	<p>現行オンライン業務の一部について、業務実態に即した業務名に変更する。</p> <p>例 NVC01 : 混載貨物情報登録 →ハウスB/L貨物情報登録 等</p>

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
7. システム制限値		システム制限値見直しの必要性等について検討する。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	利用者のニーズ、システムの費用対効果を考慮し、制限値の拡大が必要である内容について、入力欄（処理件数）及びDB保存期間についてシステム制限値を現行システムより拡大する。詳細は別紙のとおり。	共通	最終的な値は、詳細仕様において検討する。
共通	現行のIDA業務、EDA業務とは別に、多欄数用の申告事項登録業務を新規に作成する。	航空	1MAWBあたりのHAWB件数（3000件）（輸出・輸入）については、詳細仕様検討において引き続き検討する。
		海上	1 船あたりの旅客数の拡大（3000件→5000件）については、詳細仕様検討において検討する。

1. システム制限値（処理件数）の見直し

項番	項 目	Air/Sea	現 行	次期（案）
1	輸入申告業務の欄数	Air/Sea	50欄	100欄
2	輸出申告業務の欄数	Air/Sea	50欄	100欄
3	1貨物の分割（スプリット）便数（輸入）	Air	20欄	30欄
4	1貨物の分割（スプリット）便数（輸出）	Air	20欄	30欄
5	1便あたりの旅客数	Air	700人	1000人
6	貨物業務の重量の桁数	Sea	整数部6桁 小数部3桁	整数部8桁 小数部3桁
7	1コンテナあたりのB/L件数	Sea	100件	200件
8	1船舶あたりの運航情報件数	Sea	1件	3件

2. システム制限値（DB保存期間）の見直し

項番	情報名	Air/Sea	データ保存起算の契機	起算日	現行	次期案
1	輸出申告	Air/Sea	事項登録実施時	事項登録実施時	*6日	*10日
2	輸入申告	Air/Sea	事項登録実施時	事項登録実施時	*6日	*10日
3	貨物情報	Sea	MFR業務実施時	入港年月日	*6日	*14日
4			①バラ貨物で輸入等許可時 ②コンテナ詰貨物で輸入等許可により搬出時	①輸入等許可日 ②搬出日	*6日	*14日
5			ECR業務実施時	搬入予定日	*7日	*14日
6	コンテナ	Sea	①DMF業務実施時 ②実入コンテナでCLR業務の船積処理実施時	①入港年月日 ②CLR業務実施日	*6日	*14日
7	修正申告	Air/Sea	AMA業務実施時	事項登録実施時	*6日	*10日

*印は日曜・祝日を除く日

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
8. 利用者コード体系の見直し		利用者コードの枯渇等に対応するため、利用者コードの桁数増等の見直しについて検討する。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	現行8桁（利用者コード5桁＋利用者識別番号3桁）の利用者IDについて、第6次NACCSでは、利用者コード7桁＋利用者識別番号3桁の10桁に見直す。		具体的な付与基準は詳細仕様において検討する。

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
9. 管理資料の見直し		現在提供している管理資料の存廃・追加等について検討するとともに、提供方法等についても合わせて検討する。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	<p>現行システムで提供している管理資料のうち、以下の管理資料については、第6次NACCSで廃止する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ IO7：納付書集計データ ・ IO8：連記式領収済通知書情報 ・ IO9：連記式領収控情報 ・ IO10：歳入金等受入報告表情報 ・ IO11：口座振替用納付書送付情報 ・ SO5：仕向地別混載仕立実績データ ・ SO9：貨物取扱実績データ（荷送人別） ・ S10：貨物取扱実績データ（航空会社別） ・ S11：貨物取扱実績データ（営業所別） ・ S12：搭載完了AWBデータ ・ TO6：BREAK BULK MONTHLY REPORT 		特になし
共通	管理資料の配信機能については、iNACCSで提供する。		

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
10. 海外との連携		現行システムにおける海外との連携状況を整理し、次期における方向性について検討する。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	第6次NACCSでは、海外との情報連携に対応可能となる機能を引き続き用意することとし、具体的な案件については要望を把握・確認しつつ、別途検討する。		特になし

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
1 1. 民民間における決済処理		民民間における決済処理機能（手数料収受等）として、リアルタイム口座振替と同様、B t o Bにおける口座振替機能の実現について検討する。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
共通	民間利用者間において汎用的に利用可能な決済機能を提供することとし、NACCS利用料金や航空・海上における通関手数料、運賃等の支払など利用可能範囲の拡大について検討を行う。	共通	請求者口座への振り込み回数については、詳細仕様において検討する。

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
1 2. 輸入貨物の便単位管理の見直し		現行航空システムにおける輸入貨物管理は、便単位－MAWB単位－HAWB単位により構成されているが、当該管理方法の見直しを行う必要性（例えば、HAWB単位を基本）について検討する。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
航空	現行の輸入貨物管理方法は堅持しつつ、輸入混載貨物の2便目（スプリット扱い）に対する搬入確認業務等において、業務実態とシステム処理でかい離している部分の一部見直しを行うことによって改善を図る。		特になし

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
13. 航空における物流ワークフローの確認		<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行システムから参加した輸出入者が利用するEIR（S/I情報登録）、IIR（輸入指示書登録）業務と後続業務の連携のあり方について検討する。 ・ 輸出搭載処理においては、搭載上屋を前提とする仕様と搭載上屋を持たない場合の仕様が混在しているが、これら仕様のあり方について検討する。 	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
航空	<ul style="list-style-type: none"> ・ 航空におけるS/I情報登録と後続業務との連携については、海上における議論を踏まえて詳細仕様において検討を行う。 ・ 航空会社向貨物引渡し登録(航空会社単位)（RVA）業務等を共同保税蔵置場以外においても実施可能とすることで、搬出と搬入業務を1業務で実施可能とする。 		特になし

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
1 4. 輸出入者・NVOCC・海貨業者業務の見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・業務処理フローの再確認を行う。 ・S I R等物流情報と通関係貨物情報との項目差異の対応について検討する（住所4分割、仕出港等の定義等） ・ACL業務の見直し →アタッチシートの取扱い、ACL 03 / 04 への移行等 	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
海上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現行SIRは、海上輸出物流の最上流情報として後続業務での利用を可能とする方向で提案したが、通関係で利用する情報とBL作成等を目的として利用する情報では、利用項目等が異なる面があることから、第6次NACCSではS/I情報の利用について柔軟に利用可能となるよう業務の性格を見直すこととする。 なお、具体的な見直しは、引き続き関係者間で協議しつつ、詳細仕様において検討することとする。 	海上	ACL業務の改善の提案に対していただいた意見のうち、以下の項目については詳細仕様において検討する。 <ul style="list-style-type: none"> ・アタッチシートの電子ファイルを入力する利用業種 ・通知先の増加 ・CONSIGNEE等オーバーフロー分のBODY欄への自動移行
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACL業務については、基本的に現状の業務処理フローで問題無いが、入力項目やアタッチシートの取扱いについては詳細仕様の検討時に見直しが必要である。 		

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
15. S/W業務の見直し		<ul style="list-style-type: none"> ・ 入出港SWの見直しについて検討する（A・B業務のあり方、申請画面の見直し等）。 ・ WEB業務化の導入について検討する。 	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
海上	入出港手続（S/W業務）については、第6次NACCSにおいても、現行と同様にA業務、B業務の2種類を提供する。		特になし
海上	現在の入力インターフェースを改善し、パッケージソフト以外にWeb業務としての利用方法を新たに提供する。		
海上	各申請手続きの入出力項目の整理を行う。		

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
16. B/L桁数の35桁化		現行システムでも仕様書上は35桁としているが、事実上35桁運用が行われていないため、次期においては本格導入の方向で検討を進める。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
海上	第6次NACCSでは、システム更改と同時にB/L桁数の35桁化運用を開始する。		特になし

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
17. システム構成等		<ul style="list-style-type: none"> ・メインセンター稼働率：99.99%以上（バックアップ：99.9%） ・業務トランザクション処理時間：1秒以内（平均） ・24時間365日稼働 ・現行構成等の継続について提案する。 ・次期NACCS民間ネットワークの増強等について提案する。 	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
方式EDI等	<p>次期NACCSにおいても、現行と同等の信頼性要件とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインセンター稼働率：99.99%以上 ・バックアップセンター稼働率：99.9% ・業務トランザクション処理時間：1秒以内（平均） ・24時間365日稼働 ・現行システム構成等の継続について提案する。 <p>ただし、iNACCS等の新サービスについては、経済性を考慮し、その業務要件に応じた信頼性要件を設定する。</p>		特になし
方式EDI等	<p>現行システムでは、定期メンテナンスによるシステム停止を毎月1回行っているが、第6次NACCSでは、システム構成の一部見直しを行う等によりシステム停止の頻度を削減する。</p>		
方式EDI等	<p>外部システムとの接続については、次期NACCSにおいても平成25年10月の関連図と同様の接続形態の継続を実現する。</p>		

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
18. バックアップセンター機能		<ul style="list-style-type: none"> ・バックアップセンターを設置する目的の明確化（大規模災害用以外の利用について検討する。）、切り替え時の迅速化・簡素化について提案する。 	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
方式 EDI等	バックアップセンターは、現行システムと同様に大規模災害等が発生した場合における代替機能を目的として設置する。 ただし、長時間のシステム障害が発生した場合におけるメインセンターの代替機能としての利用を可能とする観点に立ち、メイン⇄バックの切り替え手段等の機能向上を図る。		特になし
方式 EDI等	全業務のバックアップを可能とする。		
方式 EDI等	2011年3月に発生した東日本大震災を鑑み、バックアップセンターの設置要件について見直しを図る。		

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
19. ダイレクト・インターフェース（X.25）方式の廃止		システム資源の効率化を図るため、ダイレクト・インターフェース（X.25）方式の廃止について提案する。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
方式 EDI等	第6次NACCSでは、ダイレクト・インターフェース（X.25）方式を廃止する。		特になし

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
20. 利用者インターフェースの改善		<ul style="list-style-type: none"> ・ 端末パッケージソフト機能の見直し、バージョンアップ方法の見直し等について提案する。 ・ Web方式の導入について提案する。 	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
方式 EDI等	端末資材のアップデート方法について、使用する端末資材単位にアップデートする仕組み等の新たな方法を導入し、バージョンアップ時におけるダウンロード時間の短縮化等について検討する。	方式 EDI等	アップデート方法については、最善の方法を詳細仕様において検討する。
方式 EDI等	<p>現在、一部業務で提供しているWebインターフェースについて、経済性や機能性を考慮したうえで、対象業務の拡大を行う。</p> <p>なお、Web化対象業務は入出港業務（海上）、照会業務の一部（航空・海上）、既存Web対象業務及び関係省庁業務の一部とする（全業務は対象としない）。</p> <p>また、スマートフォン等による利用も検討する。</p>	方式 EDI等	Web業務も含めた照会業務の対象となる利用業種については、詳細仕様において検討する。

<参考> 対象業務一覧（海上入出港業務）

項番	業務コード	業務名
1	VBX	船舶基本情報登録
2	VBY	船舶基本情報訂正
3	VBY11	船舶基本情報訂正呼出し
4	VTX01	船舶運航情報登録
5	VTX02	乗組員情報登録
6	VTX03	旅客情報登録
7	VTX04	船用品情報登録
8	VTX11	船舶運航情報登録呼出し
9	VTX12	乗組員情報登録呼出し
10	VTX13	旅客情報登録呼出し
11	VTX14	船用品情報登録呼出し
12	VPX	入港前統一申請
13	VPT	入港前統一申請B
14	VPT11	入港前統一申請B呼出し
15	VIX	入港届等
16	VIT	入港届等B
17	VIT11	入港届等B呼出し
18	TPC	とん税等納付申告
19	VMR	移動届
20	VMR11	移動届呼出し
21	CPC	不開港出入許可申請
22	VOX	出港届等
23	VOT	出港届等B
24	VOT11	出港届等B呼出し

項番	業務コード	業務名
25	IVK	船舶コード照会
26	IVC	船舶管理情報照会
27	IVS	入出港届等照会
28	IPP	不開港出入許可申請照会
29	IVD	入出港日別一覧照会
30	JBX	船舶基本情報登録（内航船）
31	JBY	船舶基本情報訂正（内航船）
32	JBY11	船舶基本情報訂正呼出し（内航船）
33	JPT	入港前統一申請等（内航船）
34	JPT11	入港前統一申請等呼出し（内航船）
35	JIT	入港届等（内航船）
36	JIT11	入港届等呼出し（内航船）
37	JMR	移動届（内航船）
38	JMR11	移動届呼出し（内航船）
39	JOT	出港届等（内航船）
40	JOT11	出港届等呼出し（内航船）
41	JSS	申請状態確認
42	KIT	入港料減免・還付申請
43	KIT11	入港料減免・還付申請呼出し
44	KMT	船舶運航動静通知
45	KMT11	船舶運航動静通知呼出し
46	KST	海側施設使用許可申請
47	KST11	海側施設使用許可申請呼出し
48	KL T	陸側施設使用許可申請
49	KL T 1 1	陸側施設使用許可申請呼出し

<参考> 対象業務一覧（照会業務）

項番	業務コード	業務名
50	I C I	船積コンテナ情報照会
51	I G S	輸出貨物情報照会
52	I F T	輸出便情報照会
53	I M A	混載貨物仕立状況照会
54	I E X	輸出申告等照会
55	I E S	輸出申告等一覧照会
56	I M I	積荷目録状況照会
57	I F R	フリータイム情報照会
58	I M F 1 1	輸入便情報照会（AWB）
59	I M F 1 2	輸入便情報照会（HAWB）
60	I A W	輸入貨物情報照会
61	I T S	蔵置料照会
62	I W I	保税蔵置場在庫状況照会（輸入）
63	I I D	輸入申告等照会
64	I X X	関連省庁申告・申請状況照会
65	I D I	輸入申告等一覧照会
66	I A S	担保照会
67	I C G	貨物情報照会
68	I C N	コンテナ情報照会
69	I W S	貨物在庫状況照会
70	I H Y	汎用申請照会
71	I I E	輸出入者情報照会
72	I E R	為替レート照会
73	I C P	特恵税率適用照会

【備 考】

- 海上入出港、照会業務以外に現行システムで提供しているWeb対象業務についても、継続して提供する。
- 関係省庁業務の一部について、新たにWeb化の導入を検討する。

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項	検討内容等
21. XML対象業務の見直し	・XML対象業務のあり方について検討する。

区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
方式 EDI等	現行システムで提供している電文処理方式・対象業務については、特段の見直し要望等はないことから、第6次NACCSにおいても、現行のまま継続して提供する。	方式 EDI等	XML方式でのe-AWB化対応については、詳細仕様において検討する。

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項	検討内容等
22. I P v 6対応の検討	・ I P v 6の普及状況を踏まえ対応要否等について提案する。

区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
方式 EDI等	<p>I P v 6については今後の普及予測、方向性が不透明であることから、基本仕様の段階では、IPアドレス変換による対応を想定することとし、今後、詳細仕様の段階において、最新の状況に対応した形で改めて検討を行うこととする。</p> <p>注：IPアドレス変換により対応する場合は、利用者側に経費負担が発生しない形で実施する。</p>		<p>詳細検討時の普及状況等を勘案して検討を進める。</p>

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
23. 移行の考え方		・ システム更改時における移行方法の基本的な考え方について提案する。	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
移行	第6次NACCS更改では、現行NACCS（平成25年に統合されるFAINS、ANIPASおよびPQ-NETWORK機能を含む。）の機能、DBについて一括で移行することを目指す。		特になし
移行	移行に要する時間は、第5次NACCS更改時（航空機能更改）に要した移行時間（5時間程度）を目安とする。		

WGにおける個別検討結果は以下のとおり。

個別検討・説明事項		検討内容等	
24. iNACCS（仮称）の提案		<ul style="list-style-type: none"> ・情報プラットフォームとしての機能拡充を図る観点から、情報提供機能に特化したシステムを構築し、以下のようなサービスを提供することについて提案する。 <ul style="list-style-type: none"> ○文書管理サービス ○RAWデータによる管理資料情報の提供 ○通関関連情報提供の充実 ○港湾統計用データの提供の見直し ○業務履歴データの管理・提供 等 	
区分	WGにおける決定事項	区分	WGにおいて詳細仕様での検討とした事項
新規業務	<p>情報提供機能に特化した以下のサービスを提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ストレージサービス ② レポートサービス ③ NACCSコード検索等機能 ④ 港湾統計作成用データの提供 	新規業務	<p>現行システムからのデータ移行については、詳細仕様において検討する。</p>
新規業務	<p>管理資料の配信機能についてもiNACCSで対応する。</p>		